

シラバス

科目名	ビジネススキル I		担当者名	牛房やよい	
学科	声優・演劇科 声優コース		授業方法	講義、実習	
認定単位 開講学年	1単位 1学年	開講期 必・選	前期・後期・ 通年 必修 ・選択・必修選択	授業時間数	36時間(週講時数 1)
授業目的	未来・社会を生きていくスキルをつける				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	1、ダンスを通じたコミュニケーションを知る。 2、言葉を使わない表現を通じて、表現方法に幅を生む。 3、身体を使う基礎を学び、ダンス技術が周囲と自らにもたらす効果を体感する。				
授業概要	・挨拶・マナーの徹底・日々の連絡事項の伝達・面談を行い、個人でのサポート・オーディション情報共有 ・一般常識テスト・マナープロトコル授業				
授業計画表	授業内容			授業内容	
	1	オリエンテーション1	19	後期プランについて	
	2	オリエンテーション2	20	マナー・プロトコル3級合格への取り組み	
	3	オリエンテーション3	21	一般常識テスト	
	4	挨拶・マナー・ルールについて	22	マナー・プロトコル3級合格への取り組み	
	5	自己紹介	23	一般常識テスト	
	6	他己紹介	24	マナー・プロトコル3級合格への取り組み	
	7	他己紹介	25	一般常識テスト	
	8	マナー・プロトコル3級合格への取り組み	26	マナー・プロトコル3級合格への取り組み	
	9	一般常識テスト	27	一般常識テスト	
	10	マナー・プロトコル3級合格への取り組み	28	マナー・プロトコル3級合格への取り組み	
	11	一般常識テスト	29	一般常識テスト	
	12	マナー・プロトコル3級合格への取り組み	30	マナー・プロトコル3級合格への取り組み	
	13	一般常識テスト	31	一般常識テスト	
	14	マナー・プロトコル3級合格への取り組み	32	マナー・プロトコル3級合格への取り組み	
	15	一般常識テスト	33	一般常識テスト	
	16	マナー・プロトコル3級合格への取り組み	34	確認テスト・まとめ1	
	17	一般常識テスト	35	確認テスト・まとめ2	
	18	前期まとめ	36	確認テスト・まとめ3	
成績割合	テスト	40%	学習FB方法	前期・後期 成績表送付	
	学習態度・出席率	40%			
	レポート	20%	成績評価	出席率80%以上 S90~100点 A80~89 B70~79点 C60~69 点 D59点以下は不合格	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>30% R<<実働実践型学習>>30% A<<主体的参加型学習>>30% G<<海外体感型学習>>10%				
講師プロフィール	担任教員:牛房やよい プロダクションでの活動を経て、演劇企画・由木事務所にて公演活動を続けながら、1991年教員として着任、現在は公演企画時に制作として携わる等活動をおこなっている。				

シラバス

科目名	ダンスI		担当者名	遠野 祥	
学科	声優・演劇科 声優コース		授業方法	実習・実技	
認定単位 開講学年	2単位 1学年	開講期 必・選	前期・後期・ 通年 必修・選択・ 必修選択	授業時間数	72時間(週講時数 2)
授業目的	ダンス技術習得と表現の実践				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	1、ダンスを通じたコミュニケーションを知る。 2、言葉を使わない表現を通じて、表現方法に幅を生む。 3、身体を使う基礎を学び、ダンス技術が周囲と自らにもたらす効果を体感する。				
授業概要	ダンスの基礎を学び、技術と表現を実践して人に見せる事から多様な表現方法の経験を創造します。				
授業計画表		授業内容		授業内容	
	1	オリエンテーション1	19	基礎の理解、振付2曲目	
	2	オリエンテーション2	20	基礎の理解、振付2曲目	
	3	オリエンテーション3	21	基礎の理解、振付2曲目	
	4	基礎の順番記憶、習慣づくり、振付1曲目	22	基礎の理解、振付2曲目	
	5	基礎の順番記憶、習慣づくり、振付1曲目	23	基礎の理解、振付2曲目	
	6	基礎の順番記憶、習慣づくり、振付1曲目	24	基礎の理解、振付2曲目	
	7	基礎の順番記憶、習慣づくり、振付1曲目	25	基礎の理解、振付2曲目	
	8	基礎の順番記憶、習慣づくり、振付1曲目	26	基礎の理解、振付2曲目	
	9	基礎の順番記憶、習慣づくり、振付1曲目	27	基礎の理解、振付2曲目	
	10	基礎の順番記憶、習慣づくり、振付1曲目	28	基礎の理解、振付2曲目	
	11	基礎の順番記憶、習慣づくり、振付1曲目	29	基礎の理解、振付2曲目	
	12	基礎の理解、振付1曲目	30	基礎の理解、振付2曲目	
	13	基礎の理解、振付1曲目	31	基礎の理解、振付2曲目	
	14	基礎の理解、振付1曲目	32	基礎の理解、振付2曲目	
	15	基礎の理解、振付1曲目	33	基礎の理解、振付2曲目	
	16	基礎の理解、振付1曲目	34	確認テスト・まとめ1	
	17	基礎の理解、振付1曲目	35	確認テスト・まとめ2	
18	基礎の理解、振付1曲目、発表	36	確認テスト・まとめ3		
成績割合	テスト	40%	学習FB方法	前期・後期 成績表送付	
	学習態度・出席率	60%			
	レポート	0%	成績評価	出席率80%以上 S90~100点 A80~89 B70~79点 C60~69 点 D59点以下は不合格	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>40% R<<実働実践型学習>>30% A<<主体的参加型学習>>30% G<<海外体感型学習>>				
講師プロフィール	日本ジャズダンス芸術協会ダンスコンクール第1位。 イギリスエジンバラ演劇祭、フランスアビニオン演劇祭およびギリシャ、ニューヨーク公演、オーストラリア、カナダ、中国公演など延べ17ヶ国での公演にメインキャストとして出演。				

シラバス

科目名	演技基礎		担当者名	大塚 規子	
学科	声優・演劇科 声優コース		授業方法	実習・実技	
認定単位 開講学年	3単位 1学年	開講期 必・選	前期・後期・ 通年 必修・選択・ 必修選択	授業時間数	108時間(週講時数 3)
授業目的	演技の基礎を学び、聞き取りやすい声が出せるようになる。人前で堂々と演じられるようになる。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	1、ダンスを通じたコミュニケーションを知る。 2、言葉を使わない表現を通じて、表現方法に幅を生む。 3、身体を使う基礎を学び、ダンス技術が周囲と自らにもたらす効果を体感する。				
授業概要	演技の基礎となる、プロミネンス(強調)やポーズ(間)などについて座学で学んだ後、実践。				
授業計画表		授業内容		授業内容	
	1	オリエンテーション1	19	先読みしない練習	
	2	オリエンテーション2	20	4つのキャラクターを演じ分ける①	
	3	オリエンテーション3	21	登場人物3人の台本	
	4	自己紹介	22	登場人物3人の台本	
	5	オーディション形式①	23	登場人物3人の台本	
	6	プロミネンス(ニュース原稿使用)初見	24	登場人物3人の台本	
	7	プロミネンス(ニュース原稿使用)応用	25	4つのキャラクターを演じ分ける②	
	8	ポーズ(短いセリフ)初見	26	登場人物4人の台本	
	9	ポーズ(短いセリフ)応用	27	登場人物4人の台本	
	10	アクセント記号の入れ方	28	登場人物4人の台本	
	11	リズム、イントネーション、フレージング	29	登場人物4人の台本	
	12	アーティキュレーション	30	ナレーションバトル	
	13	イメージネーション	31	朗読バトル	
	14	ナレーション	32	発表	
	15	朗読	33	発表	
	16	セリフの裏付け	34	確認テスト・まとめ1	
	17	距離感	35	確認テスト・まとめ2	
18	1対1のセリフのやりとり	36	確認テスト・まとめ3		
成績割合	テスト	50%	学習FB方法	前期・後期 成績表送付	
	学習態度・出席率	50%			
	レポート	0%	成績評価	出席率80%以上 S90~100点 A80~89 B70~79点 C60~69 点 D59点以下は不合格	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<課題解決型学習>40% R<実働実践型学習>20% A<主体的参加型学習>40% G<海外体感型学習>				
講師プロフィール	劇団悪役商会、石井光三オフィスでの演劇活動を経て、日本ナレーション演技研究所の講師を22年間つとめる。演技指導の講師であり、台本の執筆、演出にも力を入れている。				

シラバス

科目名	オーディション対策セミナー I		担当者名	土方 恵美	
学科	声優・演劇科 声優コース		授業方法	講義、実習	
認定単位 開講学年	2単位 1学年	開講期 必・選	前期・後期・ 通年 必修・選択・ 必修選択	授業時間数	72時間(週講時数 2)
授業目的	業界理解、所属後のイメージを具体化しオーディションへの心得を学ぶ				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	1、ダンスを通じたコミュニケーションを知る。 2、言葉を使わない表現を通じて、表現方法に幅を生む。 3、身体を使う基礎を学び、ダンス技術が周囲と自らにもたらす効果を体感する。				
授業概要	プロフィールの書き方、自己PRのポイント、オーディション時におけるノウハウを学ぶ。 オーディションに必要なスキルを学び、企業説明会と模擬オーディションを通して、現状の自己理解、分析をすると共に、企業説明会で見えてくる社会で求められる表現者としての自己プロデュース力を身につける				
授業計画表	授業内容			授業内容	
	1	オリエンテーション1	19	ボイスサンプル	
	2	オリエンテーション2	20	ボイスサンプル	
	3	オリエンテーション3	21	ボイスサンプル	
	4	グループディスカッション	22	ボイスサンプル	
	5	グループディスカッション	23	ボイスサンプル	
	6	オーディション用紙の書き方	24	ボイスサンプル	
	7	書類審査の重要性について	25	ボイスサンプル	
	8	自己PRのポイント	26	ボイスサンプル	
	9	自己PRの発表	27	各種希望調査、共有、面談	
	10	課題への取り組み	28	各種希望調査、共有、面談	
	11	課題への取り組み	29	各種希望調査、共有、面談	
	12	課題への取り組み	30	各種希望調査、共有、面談	
	13	課題への取り組み	31	各種希望調査、共有、面談	
	14	課題への取り組み	32	各種希望調査、共有、面談	
	15	課題への取り組み	33	各種希望調査、共有、面談	
	16	課題への取り組み	34	確認テスト・まとめ1	
	17	課題への取り組み	35	確認テスト・まとめ2	
	18	前期まとめ	36	確認テスト・まとめ3	
成績割合	テスト	40%	学習FB方法	前期・後期 成績表送付	
	学習態度・出席率	30%			
	レポート	30%	成績評価	出席率80%以上 S90~100点 A80~89 B70~79点 C60~69 点 D59点以下は不合格	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<課題解決型学習>≧50% R<実働実践型学習>≧20% A<主体的参加型学習>≧20% G<海外体感型学習>≧10%				
講師プロフィール	土方恵美 劇団青年座を経て劇団NLT所属。舞台、海外ドラマの吹き替え等女優活動を経て、2009年教員として着任。				

シラバス

科目名	音声表現		担当者名	川本 宗紀	
学科	声優・演劇科 声優コース		授業方法	実習・実技	
認定単位 開講学年	2単位 1学年	開講期 必・選	前期・後期・ 通年 必修・選択・ 必修選択	授業時間数	72時間(週講時数 2)
授業目的	綺麗な滑舌と正しい日本語の音の動きを覚えてもらい、感情解放も行っていく。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	1、ダンスを通じたコミュニケーションを知る。 2、言葉を使わない表現を通じて、表現方法に幅を生む。 3、身体を使う基礎を学び、ダンス技術が周囲と自らにもたらす効果を体感する。				
授業概要	外郎売、滑舌教本を使って発声、暗記、滑舌、イントネーションの向上、感情解放を目指す。				
授業計画表	授業内容			授業内容	
	1	オリエンテーション1	19	滑舌教本で正しく日本語を読む	
	2	オリエンテーション2	20	滑舌教本で正しく日本語を読む	
	3	オリエンテーション3	21	滑舌教本で正しく日本語を読む	
	4	外郎売を使った発声	22	滑舌教本で正しく日本語を読む	
	5	外郎売を使った発声	23	滑舌教本で正しく日本語を読む	
	6	外郎売を使った発声	24	滑舌教本2	
	7	簡単な滑舌教本で発声	25	滑舌教本2	
	8	簡単な滑舌教本で発声	26	滑舌教本2	
	9	簡単な滑舌教本で発声	27	滑舌教本2	
	10	簡単な滑舌教本で発声	28	滑舌教本2	
	11	外郎売・滑舌教本で滑舌強化	29	全員で演じれる台本で感情解放	
	12	外郎売・滑舌教本で滑舌強化	30	全員で演じれる台本で感情解放	
	13	外郎売・滑舌教本で滑舌強化	31	全員で演じれる台本で感情解放	
	14	外郎売・滑舌教本で滑舌強化	32	全員で演じれる台本で感情解放	
	15	外郎売暗記	33	全員で演じれる台本で感情解放	
	16	外郎売暗記	34	確認テスト・まとめ1	
	17	外郎売暗記	35	確認テスト・まとめ2	
18	外郎売テスト	36	確認テスト・まとめ3		
成績割合	テスト	50%	学習FB方法	前期・後期 成績表送付	
	学習態度・出席率	50%			
	レポート	0%	成績評価	出席率80%以上 S90~100点 A80~89 B70~79点 C60~69 点 D59点以下は不合格	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<課題解決型学習>40% R<実働実践型学習>20% A<主体的参加型学習>40% G<海外体感型学習>				
講師プロフィール	東京工学院専門学校を卒業後、某ゲームの主人公、ドラマCDに出演。その後、自分で制作した作品の声をやりたいと思い、学校で学んだ事と独学で、動画やゲーム、ドラマCD、アニメ等を合計で400本以上制作。				

シラバス

科目名	ヴォーカルトレーニング I		担当者名	宗田 良一	
学科	声優・演劇科 声優コース		授業方法	実習・実技	
認定単位 開講学年	2単位 1学年	開講期 必・選	前期・後期・ 通年 必修・選択・ 必修選択	授業時間数	72時間(週講時数 2)
授業目的	ヴォーカルを通して、呼吸・発声・滑舌など、俳優・声優・ヴォーカリストとして必要な基礎や応用を身に付ける。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	1、ダンスを通じたコミュニケーションを知る。 2、言葉を使わない表現を通じて、表現方法に幅を生む。 3、身体を使う基礎を学び、ダンス技術が周囲と自らにもたらす効果を体感する。				
授業概要	ウォーミングアップから呼吸・発声(芝居発声と音程発声)を行い、個人でのヴォーカル発表をする。個人での発表にする事により、一人一人の良さや課題を見つけ出す。同じ生徒の前に立ち、個人で歌う事により、オーディション対策や緊張の軽減に役立て、人前で発表することの楽しさを覚えていく。				
授業計画表		授業内容		授業内容	
	1	オリエンテーション1	19	課題曲(アップテンポナンバー)選考、全体歌唱	
	2	オリエンテーション2	20	課題曲(アップテンポナンバー)の全体、グループ歌唱	
	3	オリエンテーション3	21	課題曲(アップテンポナンバー)のソロ歌唱①	
	4	自己紹介、ウォーミングアップ(解説含む)	22	課題曲(アップテンポナンバー)のソロ歌唱②	
	5	ウォーミングアップ、呼吸、発声(解説含む)、課題曲(アップテンポナンバー)選考	23	課題曲(アップテンポナンバー)のソロ歌唱③	
	6	課題曲(アップテンポナンバー)の全体、グループ歌唱	24	課題曲(バラードナンバー)選考、全体歌唱	
	7	課題曲(アップテンポナンバー)のソロ歌唱①	25	課題曲(バラードナンバー)の全体、グループ歌唱	
	8	課題曲(アップテンポナンバー)のソロ歌唱②	26	課題曲(バラードナンバー)のソロ歌唱①	
	9	課題曲(アップテンポナンバー)のソロ歌唱③	27	課題曲(バラードナンバー)のソロ歌唱②	
	10	課題曲(アップテンポナンバー)のソロ歌唱④	28	課題曲(バラードナンバー)のソロ歌唱③	
	11	課題曲(バラードナンバー)選考、全体歌唱	29	課題曲(デュオ、デュエット)選考、全体歌唱	
	12	課題曲(バラードナンバー)の全体、グループ歌唱	30	課題曲(デュオ、デュエット)全体、グループ歌唱	
	13	課題曲(バラードナンバー)のソロ歌唱①	31	課題曲(デュオ、デュエット)歌唱①	
	14	課題曲(バラードナンバー)のソロ歌唱②	32	課題曲(デュオ、デュエット)歌唱②	
	15	課題曲(バラードナンバー)のソロ歌唱③	33	課題曲(アップテンポ・バラード)テスト	
	16	課題曲(バラードナンバー)のソロ歌唱④	34	確認テスト・まとめ1	
	17	課題曲(アップテンポナンバー)の前期発表	35	確認テスト・まとめ2	
18	課題曲(バラードナンバー)の前期発表	36	確認テスト・まとめ3		
成績割合	テスト	50%	学習FB方法	前期・後期 成績表送付	
	学習態度・出席率	50%			
	レポート		成績評価	出席率80%以上 S90~100点 A80~89 B70~79点 C60~69点 D59点以下は不合格	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>50% R<<実働実践型学習>>30% A<<主体的参加型学習>>20% G<<海外体感型学習>>				
講師プロフィール	1999年『The Singers』(博品館)のテーマ曲を発表し、NASAの名で作詞・作曲家としてデビュー、歌唱指導としても活動。主な作品に『A NEW MUSICAL クロスハート』『道化の瞳』『私のダーリン』『THE TAP GUY』他(作曲・歌唱指導)、『ピーターパン』、『年中無休!』『悪魔の毒毒モンスター』(歌唱指導)など多数。				

シラバス

科目名	舞台実習 I		担当者名	眞鍋 卓嗣	
学科	声優・演劇科 声優コース		授業方法	実習・実技	
認定単位 開講学年	3単位 1学年	開講期 必・選	前期・後期・ 通年 必修・選択・ 必修選択	授業時間数	108時間(週講時数 3)
授業目的	俳優・声優に必要な演技力を身につける				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	1、ダンスを通じたコミュニケーションを知る。 2、言葉を使わない表現を通じて、表現方法に幅を生む。 3、身体を使う基礎を学び、ダンス技術が周囲と自らにもたらす効果を体感する。				
授業概要	(1)シアター・ムーブメント(舞台上での身体の獲得・心と体を結び表現につなげる)。(2)シアター・ゲーム(コミュニケーション能力を養う。想像力を養う)。(3)戯曲を読む(戯曲の読み方、役への向き合い方、読み合わせ)。(4)立ち稽古をし、ワンシーンを上演する。				
授業計画表		授業内容		授業内容	
	1	オリエンテーション1	19	戯曲を読む	
	2	オリエンテーション2	20	戯曲を読む	
	3	オリエンテーション3	21	戯曲を読む	
	4	シアター・ゲーム	22	戯曲を読む	
	5	シアター・ゲーム	23	立ち稽古をし、ワンシーンを上演する	
	6	シアター・ゲーム	24	立ち稽古をし、ワンシーンを上演する	
	7	シアター・ゲーム	25	立ち稽古をし、ワンシーンを上演する	
	8	シアター・ゲーム	26	立ち稽古をし、ワンシーンを上演する	
	9	シアター・ゲーム	27	立ち稽古をし、ワンシーンを上演する	
	10	シアター・ゲーム	28	立ち稽古をし、ワンシーンを上演する	
	11	シアター・ムーブメント	29	立ち稽古をし、ワンシーンを上演する	
	12	シアター・ムーブメント	30	立ち稽古をし、ワンシーンを上演する	
	13	シアター・ムーブメント	31	立ち稽古をし、ワンシーンを上演する	
	14	シアター・ムーブメント	32	立ち稽古をし、ワンシーンを上演する	
	15	シアター・ムーブメント	33	立ち稽古をし、ワンシーンを上演する	
	16	戯曲を読む	34	確認テスト・まとめ1	
	17	戯曲を読む	35	確認テスト・まとめ2	
18	戯曲を読む	36	確認テスト・まとめ3		
成績割合	テスト	50%	学習FB方法	前期・後期 成績表送付	
	学習態度・出席率	50%			
	レポート	0%	成績評価	出席率80%以上 S90~100点 A80~89 B70~79点 C60~69点 D59点以下は不合格	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<課題解決型学習>40% R<実働実践型学習>20% A<主体的参加型学習>40% G<海外体感型学習>				
講師プロフィール	劇団俳優座に所属している。演出作品多数。				

シラバス

科目名	アフレコ実習 I		担当者名	川本 宗紀	
学科	声優・演劇科 声優コース		授業方法	実習・実技	
認定単位 開講学年	3単位 1学年	開講期 必・選	前期・後期・ 通年 必修・選択・ 必修選択	授業時間数	108時間(週講時数 3)
授業目的	演技の基本的な事を知ってもらい、同時に人間性を磨く。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	1、ダンスを通じたコミュニケーションを知る。 2、言葉を使わない表現を通じて、表現方法に幅を生む。 3、身体を使う基礎を学び、ダンス技術が周囲と自らにもたらす効果を体感する。				
授業概要	台本を用いて、発声、滑舌、感情解放、距離感の向上を目指し、 また、キャラクターに合わせた声の作り方と収録時の注意、マイクワークを学んでもらう。 授業後半では、作品のラジオ番組を主演者同士で話し合い、台本を作ってもらう。				
授業計画表		授業内容		授業内容	
	1	オリエンテーション1	19	一度台本を落とし、体を動かす	
	2	オリエンテーション2	20	一度台本を落とし、体を動かす	
	3	オリエンテーション3	21	一度台本を落とし、体を動かす	
	4	滑舌練習	22	役者同士でイメージのすり合わせ・コミュ力向上	
	5	滑舌練習	23	役者同士でイメージのすり合わせ・コミュ力向上	
	6	滑舌練習	24	役者同士でイメージのすり合わせ・コミュ力向上	
	7	ドラマCD台本読み合わせ	25	役者同士でイメージのすり合わせ・コミュ力向上	
	8	ドラマCD台本読み合わせ	26	マイクワーク	
	9	ドラマCD台本読み合わせ	27	マイクワーク	
	10	ドラマCD台本読み合わせ	28	マイクワーク	
	11	キャラクターに合わせた声の作り方	29	マイクワーク	
	12	キャラクターに合わせた声の作り方	30	収録時の注意	
	13	キャラクターに合わせた声の作り方	31	収録時の注意	
	14	キャラクターに合わせた声の作り方	32	収録時の注意	
	15	キャラクターに合わせた声の作り方	33	ラジオ実習	
	16	キャラクターを決定し、読み合わせ	34	確認テスト・まとめ1	
	17	キャラクターを決定し、読み合わせ	35	確認テスト・まとめ2	
18	キャラクターを決定し、読み合わせ	36	確認テスト・まとめ3		
成績割合	テスト	50%	学習FB方法	前期・後期 成績表送付	
	学習態度・出席率	50%			
	レポート	0%	成績評価	出席率80%以上 S90~100点 A80~89 B70~79点 C60~69 点 D59点以下は不合格	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>40% R<<実働実践型学習>>20% A<<主体的参加型学習>>40% G<<海外体感型学習>>				
講師プロフィール	東京工学院専門学校を卒業後、某ゲームの主人公、ドラマCD等に出演。その後、自分で制作した作品の声をやりたいと思い、学校で学んだ事と独学で、動画やゲーム、ドラマCD、アニメ等を合計で400本以上制作。				

シラバス

科目名	修了制作		担当者名	宮崎 誠二	
学科	声優・演劇科 声優コース		授業方法	実習・実技	
認定単位 開講学年	4単位 1学年	開講期 必・選	前期・後期・ 通年 必修・選択・ 必修選択	授業時間数	144時間(週講時数 4)
授業目的	表現者に必要な知識・技術を学ぶ。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	1、ダンスを通じたコミュニケーションを知る。 2、言葉を使わない表現を通じて、表現方法に幅を生む。 3、身体を使う基礎を学び、ダンス技術が周囲と自らにもたらす効果を体感する。				
授業概要	シアターゲームや座学によって、知識と技術を同時に身に付け、修了制作を行えるようにする。				
授業計画表				授業内容	
	1	オリエンテーション1	19	行動の動機付け	
	2	オリエンテーション2	20	行動の動機付け	
	3	オリエンテーション3	21	台本解釈	
	4	発音・発声の基本	22	キャラクター確立のためのエチュード	
	5	正しい日本語とは	23	キャラクター確立のためのエチュード	
	6	身体の意識	24	キャラクター確立のためのエチュード	
	7	“考える”と“感じる”	25	キャラクター確立のためのエチュード	
	8	癖ではなく表現する	26	キャラクター確立のためのエチュード	
	9	共通認識	27	キャラクター確立のためのエチュード	
	10	感覚の記憶の再現	28	キャラクター確立のためのエチュード	
	11	感情の記憶の再現	29	キャラクター確立のためのエチュード	
	12	自意識と集中の輪	30	キャラクター確立のためのエチュード	
	13	アクセントについて	31	キャラクター確立のためのエチュード	
	14	短文テキスト読み①	32	キャラクター確立のためのエチュード	
	15	台本解釈	33	キャラクター確立のためのエチュード	
	16	短文テキスト読み②	34	確認テスト・まとめ1	
	17	台本解釈	35	確認テスト・まとめ2	
18	サブ・テキストとは	36	確認テスト・まとめ3		
成績割合	テスト	40%	学習FB方法	前期・後期 成績表送付	
	学習態度・出席率	50%			
	レポート	10%	成績評価		
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<課題解決型学習>40% R<実働実践型学習>20% A<主体的参加型学習>40% G<海外体感型学習>				
講師プロフィール	宮崎誠二:スタジオえっせんず代表。劇団獣申 主宰。 TV、ドラマCD、ゲーム等の音響演出、音響効果を担当。最新作は「創の軌跡」(日本ファルコム)				

シラバス

科目名	基礎ゼミ I A		担当者名	日高 俊樹	
学科	声優・演劇科 声優コース		授業方法	講義、実習、実技	
認定単位 開講学年	2単位 1学年	開講期 必・選	前期・後期・ 通年 必修・選択・ 必修選択	授業時間数	36時間(週講時数 1)
授業目的	俳優、声優を目指すうえで世の中の「公演」がどのように作られているか仕組みを理解する。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	1、ダンスを通じたコミュニケーションを知る。 2、言葉を使わない表現を通じて、表現方法に幅を生む。 3、身体を使う基礎を学び、ダンス技術が周囲と自らにもたらす効果を体感する。				
授業概要	前期はクラスを5つのグループに分け、テーマに沿った探求、発表を行い、クラス全体で公演の仕組みを理解する。そこから見えてきたものを踏まえ、クラス全体で一つの公演を作り上げる。 後期ではそれぞれの立場に立ち、公演を制作してゆく。				
授業計画表	授業内容			授業内容	
	1	オリエンテーション1	19	公演作品決定/役割分担	
	2	オリエンテーション2	20	公演制作1	
	3	オリエンテーション3	21	公演制作2	
	4	公演の流れを知る【事例探求】1	22	公演制作3	
	5	公演の流れを知る【事例探求】2	23	公演制作4	
	6	公演の流れを知る【事例探求】3	24	公演制作5	
	7	海外の公演の流れを探究【事例探求】1	25	公演制作6	
	8	海外の公演の流れを探究【事例探求】2	26	公演制作7	
	9	海外の公演の流れを探究【事例探求】3	27	公演制作8	
	10	海外と日本の公演の在り方レポート1	28	公演制作9	
	11	海外と日本の公演の在り方レポート2	29	公演制作10	
	12	自分たちが作る理想の公演の在り方とは1	30	公演制作11	
	13	自分たちが作る理想の公演の在り方とは2	31	公演制作12	
	14	自分たちが作る理想の公演の在り方とは3	32	公演制作13	
	15	自分たちの考える理想の公演発表	33	発表	
	16	まとめ	34	確認テスト・まとめ1	
	17	公演作品共有1	35	確認テスト・まとめ2	
18	公演作品共有2	36	確認テスト・まとめ3		
成績割合	テスト	10%	学習FB方法	前期・後期 成績表送付	
	学習態度・出席率	50%			
	レポート	40%	成績評価	出席率80%以上 S90~100点 A80~89 B70~79点 C60~69 点 D59点以下は不合格	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>50% R<<実働実践型学習>>20% A<<主体的参加型学習>>20% G<<海外体感型学習>>10%				
講師プロフィール	日高俊樹:文学座演技研究所卒業 1年間雨オリカ・ロサンゼルススの演劇学校に留学。帰国後「グダイメイト」を主宰し、演劇ワークショップを行いながら自らも俳優・演出家として活躍している。				

シラバス

科目名	基礎ゼミ I B		担当者名	日高 俊樹	
学科	声優・演劇科 声優コース		授業方法	講義、実習、実技	
認定単位 開講学年	2単位 1学年	開講期 必・選	前期・後期・ 通年 必修・選択・ 必修選択	授業時間数	36時間(週講時数 1)
授業目的	俳優、声優を目指すうえで世の中の「公演」がどのように作られているか仕組みを理解する。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	1、ダンスを通じたコミュニケーションを知る。 2、言葉を使わない表現を通じて、表現方法に幅を生む。 3、身体を使う基礎を学び、ダンス技術が周囲と自らにもたらす効果を体感する。				
授業概要	前期はクラスを5つのグループに分け、テーマに沿った探求、発表を行い、クラス全体で公演の仕組みを理解する。そこから見えてきたものを踏まえ、クラス全体で一つの公演を作り上げる。 後期ではそれぞれの立場に立ち、公演を制作してゆく。				
授業計画表		授業内容		授業内容	
	1	オリエンテーション1	19	公演作品決定/役割分担	
	2	オリエンテーション2	20	公演制作1	
	3	オリエンテーション3	21	公演制作2	
	4	公演の流れを知る【事例探求】1	22	公演制作3	
	5	公演の流れを知る【事例探求】2	23	公演制作4	
	6	公演の流れを知る【事例探求】3	24	公演制作5	
	7	海外の公演の流れを探索【事例探求】1	25	公演制作6	
	8	海外の公演の流れを探索【事例探求】2	26	公演制作7	
	9	海外の公演の流れを探索【事例探求】3	27	公演制作8	
	10	海外と日本の公演の在り方レポート1	28	公演制作9	
	11	海外と日本の公演の在り方レポート2	29	公演制作10	
	12	自分たちが作る理想の公演の在り方とは1	30	公演制作11	
	13	自分たちが作る理想の公演の在り方とは2	31	公演制作12	
	14	自分たちが作る理想の公演の在り方とは3	32	公演制作13	
	15	自分たちの考える理想の公演発表	33	発表	
	16	まとめ	34	確認テスト・まとめ1	
	17	公演作品共有1	35	確認テスト・まとめ2	
18	公演作品共有2	36	確認テスト・まとめ3		
成績割合	テスト	10%	学習FB方法	前期・後期 成績表送付	
	学習態度・出席率	50%			
	レポート	40%	成績評価	出席率80%以上 S90~100点 A80~89 B70~79点 C60~69 点 D59点以下は不合格	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>50% R<<実働実践型学習>>20% A<<主体的参加型学習>>20% G<<海外体感型学習>>10%				
講師プロフィール	日高俊樹:文学座演技研究所卒業 1年間雨オリカ・ロサンゼルススの演劇学校に留学。帰国後「グダイメイト」を主宰し、演劇ワークショップを行いながら自らも俳優・演出家として活躍している。				

シラバス

科目名	ビジネススキルⅡ		担当者名	牛房やよい	
学科	声優・演劇科 声優コース		授業方法	講義、実習	
認定単位 開講学年	2単位 2学年	開講期 必・選	前期・後期・ 通年 必修 ・選・必修選択	授業時間数	36時間(週講時数 1)
授業目的	未来・社会を生きていくスキルをつける				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	1、ダンスを通じたコミュニケーションを知る。 2、言葉を使わない表現を通じて、表現方法に幅を生む。 3、身体を使う基礎を学び、ダンス技術が周囲と自らにもたらす効果を体感する。				
授業概要	<ul style="list-style-type: none"> 挨拶・マナーの徹底(メイク・服装・言葉遣い等々) 日々の連絡事項の伝達 ・面談を行い、個人へのサポート オーディション情報の伝達 ・進路相談 問題(テーマ)に関するディスカッション 				
授業計画表		授業内容		授業内容	
	1	オリエンテーション1	19	後期授業についてのオリエンテーション	
	2	オリエンテーション2	20	面談・マナー講座	
	3	オリエンテーション3	21	一般常識テスト	
	4	授業についてのオリエンテーション	22	テーマディスカッション	
	5	面談・マナー講座	23	面談・マナー講座	
	6	一般常識テスト	24	一般常識テスト	
	7	テーマディスカッション	25	テーマディスカッション	
	8	面談・マナー講座	26	面談・マナー講座	
	9	一般常識テスト	27	一般常識テスト	
	10	テーマディスカッション	28	テーマディスカッション	
	11	面談・マナー講座	29	面談・マナー講座	
	12	一般常識テスト	30	一般常識テスト	
	13	テーマディスカッション	31	テーマディスカッション	
	14	面談・マナー講座	32	面談・マナー講座	
	15	一般常識テスト	33	面談・マナー講座	
	16	テーマディスカッション	34	確認テスト・まとめ1	
	17	面談・マナー講座	35	確認テスト・まとめ2	
18	前期まとめ	36	確認テスト・まとめ3		
成績割合	テスト	40%	学習FB方法	前期・後期 成績表送付	
	学習態度・出席率	40%			
	レポート	20%	成績評価	出席率80%以上 S90~100点 A80~89 B70~79点 C60~69 点 D59点以下は不合格	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>30% R<<実働実践型学習>>30% A<<主体的参加型学習>>30% G<<海外体感型学習>>10%				
講師プロフィール	担任教員:牛房やよい プロダクションでの活動を経て、演劇企画・由木事務所にて公演活動を続けながら、1991年教員として着任、現在は公演企画時に制作として携わる等活動をおこなっている。				

シラバス

科目名	業界セミナー		担当者名	土方 恵美	
学科	声優・演劇科 声優コース		授業方法	講義、実習、実技	
認定単位 開講学年	2単位 2学年	開講期 必・選	前期・後期・ 通年 必修・選択・ 必修選択	授業時間数	72時間(週講時数 2)
授業目的	表現者において卒業後即戦力として活躍するのに必要な技術と知識の習得				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	1、ダンスを通じたコミュニケーションを知る。 2、言葉を使わない表現を通じて、表現方法に幅を生む。 3、身体を使う基礎を学び、ダンス技術が周囲と自らにもたらす効果を体感する。				
授業概要	前期は業界に精通している社会のプロフェッショナルを呼んでの講義を行い、業界理解を深める。 実際に外部のスタジオへ出てレッスンを重ねてゆく。				後期は実
授業計画表	授業内容				
	1	オリエンテーション1	19	山崎:外部スタジオレッスン1	
	2	オリエンテーション2	20	山崎:外部スタジオレッスン2	
	3	オリエンテーション3	21	山崎:外部スタジオレッスン3	
	4	小金丸:声優と舞台1	22	山崎:外部スタジオレッスン4	
	5	小金丸:声優と舞台2	23	山崎:外部スタジオレッスン5	
	6	小金丸:声優と舞台3	24	山崎:外部スタジオレッスン6	
	7	小金丸:声優と舞台4	25	山崎:外部スタジオレッスン7	
	8	山崎:表現者として必要なチカラ1	26	山崎:外部スタジオレッスン8	
	9	山崎:表現者として必要なチカラ2	27	山崎:外部スタジオレッスン9	
	10	山崎:表現者として必要なチカラ3	28	山崎:外部スタジオレッスン10	
	11	山崎:表現者として必要なチカラ4	29	山崎:外部スタジオレッスン11	
	12	メイクアップアーティスト:メイク講座1	30	山崎:外部スタジオレッスン12	
	13	メイクアップアーティスト:メイク講座2	31	山崎:外部スタジオレッスン13	
	14	土方:声優、俳優を取り巻く環境1	32	山崎:外部スタジオレッスン14	
	15	土方:声優、俳優を取り巻く環境2	33	山崎:外部スタジオレッスン15	
	16	土方:声優、俳優を取り巻く環境3	34	確認テスト・まとめ1	
	17	土方:声優、俳優を取り巻く環境4	35	確認テスト・まとめ2	
	18	まとめ	36	確認テスト・まとめ3	
成績割合	テスト	40%	学習FB方法	前期・後期 成績表送付	
	学習態度・出席率	30%			
	レポート	30%	成績評価	出席率80%以上 S90~100点 A80~89 B70~79点 C60~69 点 D59点以下は不合格	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>50% R<<実働実践型学習>>20% A<<主体的参加型学習>>20% G<<海外体感型学習>>10%				
講師プロフィール	土方…劇団青年座を経て劇団NLT所属。舞台、海外ドラマの吹き替え等女優活動を経て、2009年教員として着任。小金丸氏…日本の劇作家、脚本家、漫画原作者。劇団「演劇制作体V-NET」を主宰している。山崎氏…株式会社ボイスアクターズスタイル社長、プロモーター、プロデューサーとして養成所を運営している。				

シラバス

科目名	オーディション対策セミナーⅡ		担当者名	大塚 規子	
学科	声優・演劇科 声優コース		授業方法	実習、実技	
認定単位 開講学年	2単位 2学年	開講期 必・選	前期・後期・ 通年 必修・選択・ 必修選択	授業時間数	72時間(週講時数 2)
授業目的	演劇業界で活躍出来る表現者の育成				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	1、ダンスを通じたコミュニケーションを知る。 2、言葉を使わない表現を通じて、表現方法に幅を生む。 3、身体を使う基礎を学び、ダンス技術が周囲と自らにもたらす効果を体感する。				
授業概要	オーディション形式の授業により、オーディションの空気に慣れる。 芝居を体験することにより、本番の緊張感に対応出来るようになる。 オーディションにより役を勝ち取るという意識を持つ。 キャストイングオー				
授業計画表	授業内容		授業内容		
	1	オリエンテーション1	19	立ち稽古	
	2	オリエンテーション2	20	立ち稽古	
	3	オリエンテーション3	21	立ち稽古	
	4	オーディション練習①	22	立ち稽古	
	5	台本(本読み)	23	仕上げ(本番)	
	6	台本(本読み)	24	オーディション練習③	
	7	キャストイングオーディション	25	台本(本読み)	
	8	台本(本読み)	26	キャストイングオーディション	
	9	立ち稽古	27	台本(本読み)	
	10	立ち稽古	28	立ち稽古	
	11	立ち稽古	29	立ち稽古	
	12	立ち稽古	30	立ち稽古	
	13	仕上げ(本番)	31	立ち稽古	
	14	オーディション練習②	32	立ち稽古	
	15	台本(本読み)	33	仕上げ(本番)	
	16	台本(本読み)	34	確認テスト・まとめ1	
	17	キャストイングオーディション	35	確認テスト・まとめ2	
	18	台本(本読み)	36	確認テスト・まとめ3	
成績割合	テスト	50%	学習FB方法	前期・後期 成績表送付	
	学習態度・出席率	50%			
	レポート	0%	成績評価	出席率80%以上 S90~100点 A80~89 B70~79点 C60~69 点 D59点以下は不合格	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<課題解決型学習>40% R<実働実践型学習>20% A<主体的参加型学習>40% G<海外体感型学習>				
講師プロフィール	劇団悪役商会、石井光三オフィスでの演劇活動を経て、日本ナレーション演技研究所の講師を22年間つとめる。演技指導の講師であり、台本の執筆、演出にも力を入れている。				

シラバス

科目名	ダンスⅡ		担当者名	遠野 祥	
学科	声優・演劇科 声優コース		授業方法	実習・実技	
認定単位 開講学年	2単位 2学年	開講期 必・選	前期・後期・ 通年 必修・選択・ 必修選択	授業時間数	144時間(週講時数 4)
授業目的	ダンス技術習得と表現の実践				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	1、ダンスを通じたコミュニケーションを知る。 2、言葉を使わない表現を通じて、表現方法に幅を生む。 3、身体を使う基礎を学び、ダンス技術が周囲と自らにもたらす効果を体感する。				
授業概要	ダンスの基礎を学び、技術と表現を実践して人に見せる事から多様な表現方法の経験を創造します。				
授業計画表		授業内容		授業内容	
	1	オリエンテーション1	19	基礎の理解、振付2曲目	
	2	オリエンテーション2	20	基礎の理解、振付2曲目	
	3	オリエンテーション3	21	基礎の理解、振付2曲目	
	4	基礎の順番記憶、習慣づくり、振付1曲目	22	基礎の理解、振付2曲目	
	5	基礎の順番記憶、習慣づくり、振付1曲目	23	基礎の理解、振付2曲目	
	6	基礎の順番記憶、習慣づくり、振付1曲目	24	基礎の理解、振付2曲目	
	7	基礎の順番記憶、習慣づくり、振付1曲目	25	基礎の理解、振付2曲目	
	8	基礎の順番記憶、習慣づくり、振付1曲目	26	基礎の理解、振付2曲目	
	9	基礎の順番記憶、習慣づくり、振付1曲目	27	基礎の理解、振付2曲目	
	10	基礎の順番記憶、習慣づくり、振付1曲目	28	基礎の理解、振付2曲目	
	11	基礎の順番記憶、習慣づくり、振付1曲目	29	基礎の理解、振付2曲目	
	12	基礎の理解、振付1曲目	30	基礎の理解、振付2曲目	
	13	基礎の理解、振付1曲目	31	基礎の理解、振付2曲目	
	14	基礎の理解、振付1曲目	32	基礎の理解、振付2曲目	
	15	基礎の理解、振付1曲目	33	基礎の理解、振付2曲目	
	16	基礎の理解、振付1曲目	34	確認テスト・まとめ1	
	17	基礎の理解、振付1曲目	35	確認テスト・まとめ2	
18	基礎の理解、振付1曲目、発表	36	確認テスト・まとめ3		
成績割合	テスト	40%	学習FB方法	前期・後期 成績表送付	
	学習態度・出席率	60%			
	レポート	0%	成績評価	出席率80%以上 S90~100点 A80~89 B70~79点 C60~69 点 D59点以下は不合格	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>40% R<<実働実践型学習>>30% A<<主体的参加型学習>>30% G<<海外体感型学習>>				
講師プロフィール	日本ジャズダンス芸術協会ダンスコンクール第1位。 イギリスエジンバラ演劇祭、フランスアビニオン演劇祭およびギリシャ、ニューヨーク公演、オーストラリア、カナダ、中国公演など延べ17ヶ国での公演にメインキャストとして出演。				

シラバス

科目名	舞台実習Ⅱ		担当者名	眞鍋 卓嗣	
学科	声優・演劇科 声優コース		授業方法	実習・実技	
認定単位 開講学年	3単位 2学年	開講期 必・選	前期・後期・ 通年 必修・選択・ 必修選択	授業時間数	108時間(週講時数 3)
授業目的	俳優・声優に必要な演技力を身につける				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	1、ダンスを通じたコミュニケーションを知る。 2、言葉を使わない表現を通じて、表現方法に幅を生む。 3、身体を使う基礎を学び、ダンス技術が周囲と自らにもたらす効果を体感する。				
授業概要	(1)シアター・ムーブメント(舞台上での身体の獲得・心と体を結び表現につなげる)。(2)シアター・ゲーム(コミュニケーション能力を養う。想像力を養う)。(3)戯曲を読む(戯曲の読み方、役への向き合い方、読み合わせ)。(4)立ち稽古をし、ワンシーンを上演する。				
授業計画表		授業内容		授業内容	
	1	オリエンテーション1	19	戯曲を読む	
	2	オリエンテーション2	20	戯曲を読む	
	3	オリエンテーション3	21	戯曲を読む	
	4	シアター・ゲーム	22	戯曲を読む	
	5	シアター・ゲーム	23	立ち稽古をし、ワンシーンを上演する	
	6	シアター・ゲーム	24	立ち稽古をし、ワンシーンを上演する	
	7	シアター・ゲーム	25	立ち稽古をし、ワンシーンを上演する	
	8	シアター・ゲーム	26	立ち稽古をし、ワンシーンを上演する	
	9	シアター・ゲーム	27	立ち稽古をし、ワンシーンを上演する	
	10	シアター・ゲーム	28	立ち稽古をし、ワンシーンを上演する	
	11	シアター・ムーブメント	29	立ち稽古をし、ワンシーンを上演する	
	12	シアター・ムーブメント	30	立ち稽古をし、ワンシーンを上演する	
	13	シアター・ムーブメント	31	立ち稽古をし、ワンシーンを上演する	
	14	シアター・ムーブメント	32	立ち稽古をし、ワンシーンを上演する	
	15	シアター・ムーブメント	33	立ち稽古をし、ワンシーンを上演する	
	16	戯曲を読む	34	確認テスト・まとめ1	
	17	戯曲を読む	35	確認テスト・まとめ2	
18	戯曲を読む	36	確認テスト・まとめ3		
成績割合	テスト	50%	学習FB方法	前期・後期 成績表送付	
	学習態度・出席率	50%			
	レポート	0%	成績評価	出席率80%以上 S90~100点 A80~89 B70~79点 C60~69点 D59点以下は不合格	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<課題解決型学習>40% R<実働実践型学習>20% A<主体的参加型学習>40% G<海外体感型学習>				
講師プロフィール	劇団俳優座に所属している。演出作品多数。				

シラバス

科目名	アフレコ実習Ⅱ		担当者名	川本 宗紀	
学科	声優・演劇科 声優コース		授業方法	実習・実技	
認定単位 開講学年	3単位 2学年	開講期 必・選	前期・後期・ 通年 必修・選択・ 必修選択	授業時間数	108時間(週講時数 3)
授業目的	演技力の向上及びコミュニケーション力の向上				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	1、ダンスを通じたコミュニケーションを知る。 2、言葉を使わない表現を通じて、表現方法に幅を生む。 3、身体を使う基礎を学び、ダンス技術が周囲と自らにもたらす効果を体感する。				
授業概要	ラジオ台本を作成してもらい、その実演。 台本を用いて、滑舌、感情解放、会話の距離感、台本の読解力の向上、 収録時の注意をしていく。 また、演技や台本の内容について話し合わせ、コミュニケーション力も同時に向上を目指す。				
授業計画表		授業内容		授業内容	
	1	オリエンテーション1	19	マイクワーク	
	2	オリエンテーション2	20	マイクワーク	
	3	オリエンテーション3	21	マイクワーク	
	4	ラジオ実習とコミュ力向上	22	マイクワーク	
	5	ラジオ実習とコミュ力向上	23	ゲーム台本・収録方法の違いを説明	
	6	ラジオ実習とコミュ力向上	24	ゲーム台本読み合わせ	
	7	ラジオ実習とコミュ力向上	25	Cv決定し、読み合わせ	
	8	ドラマCD台本読み合わせ	26	Cv決定し、読み合わせ	
	9	ドラマCD台本読み合わせ	27	Cv決定し、読み合わせ	
	10	ドラマCD台本読み合わせ	28	マイクワーク	
	11	ドラマCD台本読み合わせ	29	マイクワーク	
	12	キャラクターを決定し、読み合わせ	30	マイクワーク	
	13	キャラクターを決定し、読み合わせ	31	ラジオ実習(コミュ力向上)	
	14	キャラクターを決定し、読み合わせ	32	ラジオ実習(コミュ力向上)	
	15	台本の世界観を話し合う(コミュ力向上)	33	ラジオ実習(コミュ力向上)	
	16	台本の世界観を話し合う(コミュ力向上)	34	確認テスト・まとめ1	
	17	台本の世界観を話し合う(コミュ力向上)	35	確認テスト・まとめ2	
	18	読み合わせ	36	確認テスト・まとめ3	
成績割合	テスト	50%	学習FB方法	前期・後期 成績表送付	
	学習態度・出席率	50%			
	レポート	0%	成績評価	出席率80%以上 S90~100点 A80~89 B70~79点 C60~69 点 D59点以下は不合格	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>40% R<<実働実践型学習>>20% A<<主体的参加型学習>>40% G<<海外体感型学習>>				
講師プロフィール	東京工学院専門学校を卒業後、某ゲームの主人公、ドラマCDに出演。その後、自分で制作した作品の声をやりたいと思い、学校で学んだ事と独学で、動画やゲーム、ドラマCD、アニメ等を合計で400本以上制作。				

シラバス

科目名	ヴォーカルトレーニングⅡ		担当者名	熊坂 正実	
学科	声優・演劇科 声優コース		授業方法	実習・実技	
認定単位 開講学年	2単位 2学年	開講期 必・選	前期・後期 必修・選択・ 通年 必修選択	授業時間数	72時間(週講時数 2)
授業目的	表現者としての身体の使い方・発声・発語・呼吸法を、歌唱を通して体得する。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	1、ダンスを通じたコミュニケーションを知る。 2、言葉を使わない表現を通じて、表現方法に幅を生む。 3、身体を使う基礎を学び、ダンス技術が周囲と自らにもたらす効果を体感する。				
授業概要	発声法・呼吸法・発語法など、歌唱の基礎となる技術を個人レッスンで指導。 また、フレージングやアーティキュレーションなどの楽曲理解やアナリゼを通し、 自らが奏でる声(メロディー)の「表現力」・音源や伴奏(ハーモニー)から受け取る「感性」を鍛える。				
授業計画表		授業内容		授業内容	
	1	オリエンテーション1	19	楽曲への応用(課題曲)	
	2	オリエンテーション2	20	感情表現と歌唱法・表現法	
	3	オリエンテーション3	21	感情表現と歌唱法・表現法	
	4	全体基礎練習(発声法・呼吸法・発語法)	22	楽曲への応用(課題曲)	
	5	全体基礎練習(発声法・呼吸法・発語法)	23	楽曲への応用(課題曲)	
	6	全体基礎練習(発声法・呼吸法・発語法)	24	アナリゼと楽曲研究	
	7	音程・リズム・テンポの基礎練習	25	アナリゼと楽曲研究	
	8	音程・リズム・テンポの基礎練習	26	楽曲への応用(自由曲)	
	9	楽曲への応用(課題曲)	27	楽曲への応用(自由曲)	
	10	楽曲への応用(課題曲)	28	作品としての楽曲制作(自由曲)	
	11	フレージング・アーティキュレーションの基礎練習	29	作品としての楽曲制作(自由曲)	
	12	フレージング・アーティキュレーションの基礎練習	30	作品としての楽曲制作(自由曲)	
	13	楽曲への応用(課題曲)	31	作品としての楽曲制作(自由曲)	
	14	楽曲への応用(課題曲)	32	作品としての楽曲制作(自由曲)	
	15	前期試験	33	作品としての楽曲制作(自由曲)	
	16	デュエットのアプローチ法・演奏法	34	確認テスト・まとめ1	
	17	デュエットのアプローチ法・演奏法	35	確認テスト・まとめ2	
18	楽曲への応用(課題曲)	36	確認テスト・まとめ3		
成績割合	テスト	50%	学習FB方法	前期・後期 成績表送付	
	学習態度	30%			
	レポート	20%	成績評価	出席率:80%以上 S90~100点 A80~89点 B70~79点 C 60~69点 D59点以下は不合格	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<課題解決型学習>30% R<実働実践型学習>30% A<主体的参加型学習>30% G<海外体感型学習>10%				
講師プロフィール	武蔵野音楽大学音楽学部声楽科卒業、日本オペラ振興会オペラ歌手育成部修了。国内各所でのオペラ公演やミュージカル、ディナーショーやジャズライブ等のステージに出演。				

シラバス

科目名	卒業制作		担当者名	宮崎 誠二	
学科	声優・演劇科 声優コース		授業方法	実習・実技	
認定単位 開講学年	6単位 2学年	開講期 必・選	前期・後期・ 通年 必修・選択・ 必修選択	授業時間数	180時間(週講時数5)
授業目的	表現者に必要な知識・技術を学ぶ。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	1、ダンスを通じたコミュニケーションを知る。 2、言葉を使わない表現を通じて、表現方法に幅を生む。 3、身体を使う基礎を学び、ダンス技術が周囲と自らにもたらす効果を体感する。				
授業概要	エチュード、シアターゲーム、座学によって、基本を丁寧に復習し、 高度な卒業公演を行えるようにする。			考える力を身に付け、	
授業計画表			授業内容		
	1	オリエンテーション1	19	行動の動機付け	
	2	オリエンテーション2	20	行動の動機付け	
	3	オリエンテーション3	21	台本解釈	
	4	発音・発声の復習	22	キャラクター確立のためのエチュード	
	5	正しい日本語とは	23	キャラクター確立のためのエチュード	
	6	身体の意識	24	キャラクター確立のためのエチュード	
	7	“考える”と“感じる”	25	キャラクター確立のためのエチュード	
	8	癖ではなく表現する	26	キャラクター確立のためのエチュード	
	9	共通認識	27	キャラクター確立のためのエチュード	
	10	感覚の記憶の再現	28	キャラクター確立のためのエチュード	
	11	感情の記憶の再現	29	キャラクター確立のためのエチュード	
	12	自意識と集中の輪	30	キャラクター確立のためのエチュード	
	13	アクセントについて	31	キャラクター確立のためのエチュード	
	14	短文テキスト読み①	32	キャラクター確立のためのエチュード	
	15	台本解釈	33	キャラクター確立のためのエチュード	
	16	短文テキスト読み②	34	確認テスト・まとめ1	
	17	台本解釈	35	確認テスト・まとめ2	
18	サブ・テキストとは	36	確認テスト・まとめ3		
成績割合	テスト	40%	学習FB方法	前期・後期 成績表送付	
	学習態度・出席率	50%			
	レポート	10%	成績評価	出席率80%以上 S90~100点 A80~89 B70~79点 C60~69 点 D59点以下は不合格	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<課題解決型学習>40% R<実働実践型学習>20% A<主体的参加型学習>40% G<海外体感型学習>				
講師プロフィール	宮崎誠二:スタジオえっせんず代表。劇団獣申 主宰。 TV、ドラマCD、ゲーム等の音響演出、音響効果を担当。最新作は「創の軌跡」(日本ファルコム)				

シラバス

科目名	応用ゼミⅡA		担当者名	日高 俊樹	
学科	声優・演劇科 声優コース		授業方法	講義、実習	
認定単位 開講学年	2単位 2学年	開講期 必・選	前期・後期・ 通年 必修・選択・ 必修選択	授業時間数	36時間(週講時数 1)
授業目的	演劇をエンターテインメントの枠だけでなく、社会の中でどのような役割を担っているかを理解する。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	1、ダンスを通じたコミュニケーションを知る。 2、言葉を使わない表現を通じて、表現方法に幅を生む。 3、身体を使う基礎を学び、ダンス技術が周囲と自らにもたらす効果を体感する。				
授業概要	前期はクラスを5つのグループに分け、テーマに沿った探求を行う【教育業界、介護福祉業界などからテーマに沿った講演会、フィールドワークなど】演劇の可能性を探り広げる。 そこから見えてきたものを踏まえ、自分たちで1つの地域社会(テーマ)を取り上げ、演劇をツールとした社会貢献を行う。				
授業計画表	授業内容			授業内容	
	1	オリエンテーション1	19	テーマ決定/役割分担	
	2	オリエンテーション2	20	演劇をツールとした社会貢献制作/活動1	
	3	オリエンテーション3	21	演劇をツールとした社会貢献制作/活動2	
	4	演劇の役割とは1	22	演劇をツールとした社会貢献制作/活動3	
	5	演劇の役割とは2	23	演劇をツールとした社会貢献制作/活動4	
	6	演劇の役割とは3	24	演劇をツールとした社会貢献制作/活動5	
	7	演劇をツールとした社会貢献1	25	演劇をツールとした社会貢献制作/活動6	
	8	演劇をツールとした社会貢献2	26	演劇をツールとした社会貢献制作/活動7	
	9	演劇をツールとした社会貢献3	27	演劇をツールとした社会貢献制作/活動8	
	10	海外事例探求1	28	演劇をツールとした社会貢献制作/活動9	
	11	海外事例探求2	29	演劇をツールとした社会貢献制作/活動10	
	12	グループ発表/レポート1	30	演劇をツールとした社会貢献制作/活動11	
	13	講演会1	31	演劇をツールとした社会貢献制作/活動12	
	14	講演会2	32	演劇をツールとした社会貢献制作/活動13	
	15	グループまとめ/レポート2	33	演劇をツールとした社会貢献制作/活動14	
	16	テーマ選出1	34	確認テスト・まとめ1	
	17	テーマ選出2	35	確認テスト・まとめ2	
18	テーマ選出3	36	確認テスト・まとめ3		
成績割合	テスト	40%	学習FB方法	前期・後期 成績表送付	
	学習態度・出席率	30%			
	レポート	30%	成績評価	出席率80%以上 S90~100点 A80~89 B70~79点 C60~69 点 D59点以下は不合格	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<課題解決型学習>50% R<実働実践型学習>20% A<主体的参加型学習>20% G<海外体感型学習>10%				
講師プロフィール	日高俊樹:文学座演技研究所卒業 1年間雨オリカ・ロサンゼルス演劇学校に留学。帰国後「グダイメイト」を主宰し、演劇ワークショップを行いながら自らも俳優・演出家として活躍している。				

シラバス

科目名	応用ゼミⅡB		担当者名	日高 俊樹	
学科	声優・演劇科 声優コース		授業方法	講義、実習	
認定単位 開講学年	2単位 2学年	開講期 必・選	前期・後期・ 通年 必修・選択 必修選択	授業時間数	36時間(週講時数 1)
授業目的	演劇をエンターテインメントの枠だけでなく、社会の中でどのような役割を担っているかを理解する。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	1、ダンスを通じたコミュニケーションを知る。 2、言葉を使わない表現を通じて、表現方法に幅を生む。 3、身体を使う基礎を学び、ダンス技術が周囲と自らにもたらす効果を体感する。				
授業概要	前期はクラスを5つのグループに分け、テーマに沿った探求を行う【教育業界、介護福祉業界などからテーマに沿った講演会、フィールドワークなど】演劇の可能性を探り広げる。 そこから見えてきたものを踏まえ、自分たちで1つの地域社会(テーマ)を取り上げ、演劇をツールとした社会貢献を行う。				
授業計画表		授業内容		授業内容	
	1	オリエンテーション1	19	テーマ決定/役割分担	
	2	オリエンテーション2	20	演劇をツールとした社会貢献制作/活動1	
	3	オリエンテーション3	21	演劇をツールとした社会貢献制作/活動2	
	4	演劇の役割とは1	22	演劇をツールとした社会貢献制作/活動3	
	5	演劇の役割とは2	23	演劇をツールとした社会貢献制作/活動4	
	6	演劇の役割とは3	24	演劇をツールとした社会貢献制作/活動5	
	7	演劇をツールとした社会貢献1	25	演劇をツールとした社会貢献制作/活動6	
	8	演劇をツールとした社会貢献2	26	演劇をツールとした社会貢献制作/活動7	
	9	演劇をツールとした社会貢献3	27	演劇をツールとした社会貢献制作/活動8	
	10	海外事例探求1	28	演劇をツールとした社会貢献制作/活動9	
	11	海外事例探求2	29	演劇をツールとした社会貢献制作/活動10	
	12	グループ発表/レポート1	30	演劇をツールとした社会貢献制作/活動11	
	13	講演会1	31	演劇をツールとした社会貢献制作/活動12	
	14	講演会2	32	演劇をツールとした社会貢献制作/活動13	
	15	グループまとめ/レポート2	33	演劇をツールとした社会貢献制作/活動14	
	16	テーマ選出1	34	確認テスト・まとめ1	
	17	テーマ選出2	35	確認テスト・まとめ2	
18	テーマ選出3	36	確認テスト・まとめ3		
成績割合	テスト	40%	学習FB方法	前期・後期 成績表送付	
	学習態度・出席率	30%			
	レポート	30%	成績評価	出席率80%以上 S90~100点 A80~89 B70~79点 C60~69 点 D59点以下は不合格	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<課題解決型学習>50% R<実働実践型学習>20% A<主体的参加型学習>20% G<海外体感型学習>10%				
講師プロフィール	日高俊樹:文学座演技研究所卒業 1年間雨オリカ・ロサンゼルス演劇学校に留学。帰国後「グダイメイト」を主宰し、演劇ワークショップを行いながら自らも俳優・演出家として活躍している。				

シラバス

科目名	ビジネススキル I		担当者名	牛房やよい	
学科	声優・演劇科 俳優コース		授業方法	講義、実習	
認定単位 開講学年	1単位 1学年	開講期 必・選	前期・後期・ 通年 必修 ・選択・必修選択	授業時間数	36時間(週講時数 1)
授業目的	未来・社会を生きていくスキルをつける				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	1、ダンスを通じたコミュニケーションを知る。 2、言葉を使わない表現を通じて、表現方法に幅を生む。 3、身体を使う基礎を学び、ダンス技術が周囲と自らにもたらす効果を体感する。				
授業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・挨拶・マナーの徹底 ・日々の連絡事項の伝達 ・面談を行い、個人でのサポート ・オーディション情報共有 ・一般常識テスト ・トコロール授業 <p style="text-align: right;">・マナープロ</p>				
授業計画表	授業内容			授業内容	
	1	オリエンテーション1	19	後期プランについて	
	2	オリエンテーション2	20	マナー・プロトコール3級合格への取り組み	
	3	オリエンテーション3	21	一般常識テスト	
	4	挨拶・マナー・ルールについて	22	マナー・プロトコール3級合格への取り組み	
	5	自己紹介	23	一般常識テスト	
	6	他己紹介	24	マナー・プロトコール3級合格への取り組み	
	7	他己紹介	25	一般常識テスト	
	8	マナー・プロトコール3級合格への取り組み	26	マナー・プロトコール3級合格への取り組み	
	9	一般常識テスト	27	一般常識テスト	
	10	マナー・プロトコール3級合格への取り組み	28	マナー・プロトコール3級合格への取り組み	
	11	一般常識テスト	29	一般常識テスト	
	12	マナー・プロトコール3級合格への取り組み	30	マナー・プロトコール3級合格への取り組み	
	13	一般常識テスト	31	一般常識テスト	
	14	マナー・プロトコール3級合格への取り組み	32	マナー・プロトコール3級合格への取り組み	
	15	一般常識テスト	33	一般常識テスト	
	16	マナー・プロトコール3級合格への取り組み	34	確認テスト・まとめ1	
	17	一般常識テスト	35	確認テスト・まとめ2	
	18	前期まとめ	36	確認テスト・まとめ3	
成績割合	テスト		40%	学習FB方法	前期・後期 成績表送付
	学習態度・出席率		40%		
	レポート		20%	成績評価	出席率80%以上 S90~100点 A80~89 B70~79点 C60~69 点 D59点以下は不合格
	合計		100%		
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>30% R<<実働実践型学習>>30% A<<主体的参加型学習>>30% G<<海外体感型学習>>10%				
講師プロフィール	担任教員:牛房やよい プロダクションでの活動を経て、演劇企画・由木事務所にて公演活動を続けながら、1991年教員として着任、現在は公演企画時に制作として携わる等活動をおこなっている。				

シラバス

科目名	ダンスI		担当者名	遠野 祥	
学科	声優・演劇科 俳優コース		授業方法	実習・実技	
認定単位 開講学年	2単位 1学年	開講期 必・選	前期・後期 必修・選択・ 通年 必修選択	授業時間数	72時間(週講時数 2)
授業目的	ダンス技術習得と表現の実践				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	1、ダンスを通じたコミュニケーションを知る。 2、言葉を使わない表現を通じて、表現方法に幅を生む。 3、身体を使う基礎を学び、ダンス技術が周囲と自らにもたらす効果を体感する。				
授業概要	ダンスの基礎を学び、技術と表現を実践して人に見せる事から多様な表現方法の経験を創造します。				
授業計画表	授業内容			授業内容	
	1	オリエンテーション1	19	基礎の理解、振付2曲目	
	2	オリエンテーション2	20	基礎の理解、振付2曲目	
	3	オリエンテーション3	21	基礎の理解、振付2曲目	
	4	基礎の順番記憶、習慣づくり、振付1曲目	22	基礎の理解、振付2曲目	
	5	基礎の順番記憶、習慣づくり、振付1曲目	23	基礎の理解、振付2曲目	
	6	基礎の順番記憶、習慣づくり、振付1曲目	24	基礎の理解、振付2曲目	
	7	基礎の順番記憶、習慣づくり、振付1曲目	25	基礎の理解、振付2曲目	
	8	基礎の順番記憶、習慣づくり、振付1曲目	26	基礎の理解、振付2曲目	
	9	基礎の順番記憶、習慣づくり、振付1曲目	27	基礎の理解、振付2曲目	
	10	基礎の順番記憶、習慣づくり、振付1曲目	28	基礎の理解、振付2曲目	
	11	基礎の順番記憶、習慣づくり、振付1曲目	29	基礎の理解、振付2曲目	
	12	基礎の理解、振付1曲目	30	基礎の理解、振付2曲目	
	13	基礎の理解、振付1曲目	31	基礎の理解、振付2曲目	
	14	基礎の理解、振付1曲目	32	基礎の理解、振付2曲目	
	15	基礎の理解、振付1曲目	33	基礎の理解、振付2曲目	
	16	基礎の理解、振付1曲目	34	確認テスト・まとめ1	
	17	基礎の理解、振付1曲目	35	確認テスト・まとめ2	
18	基礎の理解、振付1曲目、発表	36	確認テスト・まとめ3		
成績割合	テスト	40%	学習FB方法	前期・後期 成績表送付	
	学習態度・出席率	60%			
	レポート	0%	成績評価	出席率80%以上 S90~100点 A80~89 B70~79点 C60~69 点 D59点以下は不合格	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>40% R<<実働実践型学習>>30% A<<主体的参加型学習>>30% G<<海外体感型学習>>				
講師プロフィール	日本ジャズダンス芸術協会ダンスコンクール第1位。 イギリスエジンバラ演劇祭、フランスアビニオン演劇祭およびギリシャ、ニューヨーク公演、オーストラリア、カナダ、中国公演など延べ17ヶ国での公演にメインキャストとして出演。				

シラバス

科目名	演技基礎		担当者名	大塚 規子	
学科	声優・演劇科 俳優コース		授業方法	実習・実技	
認定単位 開講学年	3単位 1学年	開講期 必・選	前期・後期・ 通年 必修・選択・ 必修選択	授業時間数	108時間(週講時数 3)
授業目的	演技の基礎を学び、聞き取りやすい声が出せるようになる。人前で堂々と演じられるようになる。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	1、ダンスを通じたコミュニケーションを知る。 2、言葉を使わない表現を通じて、表現方法に幅を生む。 3、身体を使う基礎を学び、ダンス技術が周囲と自らにもたらす効果を体感する。				
授業概要	演技の基礎となる、プロミネンス(強調)やポーズ(間)などについて座学で学んだ後、実践。				
授業計画表		授業内容		授業内容	
	1	オリエンテーション1	19	先読みしない練習	
	2	オリエンテーション2	20	4つのキャラクターを演じ分ける①	
	3	オリエンテーション3	21	登場人物3人の台本	
	4	自己紹介	22	登場人物3人の台本	
	5	オーディション形式①	23	登場人物3人の台本	
	6	プロミネンス(ニュース原稿使用)初見	24	登場人物3人の台本	
	7	プロミネンス(ニュース原稿使用)応用	25	4つのキャラクターを演じ分ける②	
	8	ポーズ(短いセリフ)初見	26	登場人物4人の台本	
	9	ポーズ(短いセリフ)応用	27	登場人物4人の台本	
	10	アクセント記号の入れ方	28	登場人物4人の台本	
	11	リズム、イントネーション、フレージング	29	登場人物4人の台本	
	12	アーティキュレーション	30	ナレーションバトル	
	13	イメージネーション	31	朗読バトル	
	14	ナレーション	32	発表	
	15	朗読	33	発表	
	16	セリフの裏付け	34	確認テスト・まとめ1	
	17	距離感	35	確認テスト・まとめ2	
18	1対1のセリフのやりとり	36	確認テスト・まとめ3		
成績割合	テスト	50%	学習FB方法	前期・後期 成績表送付	
	学習態度・出席率	50%			
	レポート	0%	成績評価	出席率80%以上 S90~100点 A80~89 B70~79点 C60~69 点 D59点以下は不合格	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<課題解決型学習>40% R<実働実践型学習>20% A<主体的参加型学習>40% G<海外体感型学習>				
講師プロフィール	劇団悪役商会、石井光三オフィスでの演劇活動を経て、日本ナレーション演技研究所の講師を22年間つとめる。演技指導の講師であり、台本の執筆、演出にも力を入れている。				

シラバス

科目名	オーディション対策セミナー I		担当者名	土方 恵美	
学科	声優・演劇科 俳優コース		授業方法	講義、実習	
認定単位 開講学年	2単位 1学年	開講期 必・選	前期・後期・ 通年 必修・選択・ 必修選択	授業時間数	72時間(週講時数 2)
授業目的	業界理解、所属後のイメージを具体化しオーディションへの心得を学ぶ				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	1、ダンスを通じたコミュニケーションを知る。 2、言葉を使わない表現を通じて、表現方法に幅を生む。 3、身体を使う基礎を学び、ダンス技術が周囲と自らにもたらす効果を体感する。				
授業概要	プロフィールの書き方、自己PRのポイント、オーディション時におけるノウハウを学ぶ。 オーディションに必要なスキルを学び、企業説明会と模擬オーディションを通して、現状の自己理解、分析をすると共に、企業説明会で見えてくる社会で求められる表現者としての自己プロデュース力を身につける				
授業計画表	授業内容			授業内容	
	1	オリエンテーション1	19	ボイスサンプル	
	2	オリエンテーション2	20	ボイスサンプル	
	3	オリエンテーション3	21	ボイスサンプル	
	4	グループディスカッション	22	ボイスサンプル	
	5	グループディスカッション	23	ボイスサンプル	
	6	オーディション用紙の書き方	24	ボイスサンプル	
	7	書類審査の重要性について	25	ボイスサンプル	
	8	自己PRのポイント	26	ボイスサンプル	
	9	自己PRの発表	27	各種希望調査、共有、面談	
	10	課題への取り組み	28	各種希望調査、共有、面談	
	11	課題への取り組み	29	各種希望調査、共有、面談	
	12	課題への取り組み	30	各種希望調査、共有、面談	
	13	課題への取り組み	31	各種希望調査、共有、面談	
	14	課題への取り組み	32	各種希望調査、共有、面談	
	15	課題への取り組み	33	各種希望調査、共有、面談	
	16	課題への取り組み	34	確認テスト・まとめ1	
	17	課題への取り組み	35	確認テスト・まとめ2	
	18	前期まとめ	36	確認テスト・まとめ3	
成績割合	テスト	40%	学習FB方法	前期・後期 成績表送付	
	学習態度・出席率	30%			
	レポート	30%	成績評価	出席率80%以上 S90~100点 A80~89 B70~79点 C60~69 点 D59点以下は不合格	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<課題解決型学習>≥50% R<実働実践型学習>≥20% A<主体的参加型学習>≥20% G<海外体感型学習>≥10%				
講師プロフィール	土方恵美 劇団青年座を経て劇団NLT所属。舞台、海外ドラマの吹き替え等女優活動を経て、2009年教員として着任。				

シラバス

科目名	音声表現		担当者名	川本 宗紀	
学科	声優・演劇科 俳優コース		授業方法	実習・実技	
認定単位 開講学年	2単位 1学年	開講期 必・選	前期・後期・ 通年 必修・選択・ 必修選択	授業時間数	72時間(週講時数 2)
授業目的	綺麗な滑舌と正しい日本語の音の動きを覚えてもらい、感情解放も行っていく。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	1、ダンスを通じたコミュニケーションを知る。 2、言葉を使わない表現を通じて、表現方法に幅を生む。 3、身体を使う基礎を学び、ダンス技術が周囲と自らにもたらす効果を体感する。				
授業概要	外郎売、滑舌教本を使って発声、暗記、滑舌、イントネーションの向上、感情解放を目指す。				
授業計画表	授業内容			授業内容	
	1	オリエンテーション1	19	滑舌教本で正しく日本語を読む	
	2	オリエンテーション2	20	滑舌教本で正しく日本語を読む	
	3	オリエンテーション3	21	滑舌教本で正しく日本語を読む	
	4	外郎売を使った発声	22	滑舌教本で正しく日本語を読む	
	5	外郎売を使った発声	23	滑舌教本で正しく日本語を読む	
	6	外郎売を使った発声	24	滑舌教本2	
	7	簡単な滑舌教本で発声	25	滑舌教本2	
	8	簡単な滑舌教本で発声	26	滑舌教本2	
	9	簡単な滑舌教本で発声	27	滑舌教本2	
	10	簡単な滑舌教本で発声	28	滑舌教本2	
	11	外郎売・滑舌教本で滑舌強化	29	全員で演じれる台本で感情解放	
	12	外郎売・滑舌教本で滑舌強化	30	全員で演じれる台本で感情解放	
	13	外郎売・滑舌教本で滑舌強化	31	全員で演じれる台本で感情解放	
	14	外郎売・滑舌教本で滑舌強化	32	全員で演じれる台本で感情解放	
	15	外郎売暗記	33	全員で演じれる台本で感情解放	
	16	外郎売暗記	34	確認テスト・まとめ1	
	17	外郎売暗記	35	確認テスト・まとめ2	
18	外郎売テスト	36	確認テスト・まとめ3		
成績割合	テスト	50%	学習FB方法	前期・後期 成績表送付	
	学習態度・出席率	50%			
	レポート	0%	成績評価	出席率80%以上 S90~100点 A80~89 B70~79点 C60~69 点 D59点以下は不合格	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<課題解決型学習>40% R<実働実践型学習>20% A<主体的参加型学習>40% G<海外体感型学習>				
講師プロフィール	東京工学院専門学校を卒業後、某ゲームの主人公、ドラマCDに出演。その後、自分で制作した作品の声をやりたいと思い、学校で学んだ事と独学で、動画やゲーム、ドラマCD、アニメ等を合計で400本以上制作。				

シラバス

科目名	ヴォーカルトレーニング I		担当者名	宗田 良一	
学科	声優・演劇科 俳優コース		授業方法	実習・実技	
認定単位 開講学年	2単位 1学年	開講期 必・選	前期・後期・ 通年 必修・選択・ 必修選択	授業時間数	72時間(週講時数 2)
授業目的	ヴォーカルを通して、呼吸・発声・滑舌など、俳優・声優・ヴォーカリストとして必要な基礎や応用を身に付ける。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	1、ダンスを通じたコミュニケーションを知る。 2、言葉を使わない表現を通じて、表現方法に幅を生む。 3、身体を使う基礎を学び、ダンス技術が周囲と自らにもたらす効果を体感する。				
授業概要	ウォーミングアップから呼吸・発声(芝居発声と音程発声)を行い、個人でのヴォーカル発表をする。個人での発表にする事により、一人一人の良さや課題を見つけ出す。同じ生徒の前に立ち、個人で歌う事により、オーディション対策や緊張の軽減に役立て、人前で発表することの楽しさを覚えていく。				
授業計画表	授業内容			授業内容	
	1	オリエンテーション1	19	課題曲(アップテンポナンバー)選考、全体歌唱	
	2	オリエンテーション2	20	課題曲(アップテンポナンバー)の全体、グループ歌唱	
	3	オリエンテーション3	21	課題曲(アップテンポナンバー)のソロ歌唱①	
	4	自己紹介、ウォーミングアップ(解説含む)	22	課題曲(アップテンポナンバー)のソロ歌唱②	
	5	ウォーミングアップ、呼吸、発声(解説含む)、課題曲(アップテンポナンバー)選考	23	課題曲(アップテンポナンバー)のソロ歌唱③	
	6	課題曲(アップテンポナンバー)の全体、グループ歌唱	24	課題曲(バラードナンバー)選考、全体歌唱	
	7	課題曲(アップテンポナンバー)のソロ歌唱①	25	課題曲(バラードナンバー)の全体、グループ歌唱	
	8	課題曲(アップテンポナンバー)のソロ歌唱②	26	課題曲(バラードナンバー)のソロ歌唱①	
	9	課題曲(アップテンポナンバー)のソロ歌唱③	27	課題曲(バラードナンバー)のソロ歌唱②	
	10	課題曲(アップテンポナンバー)のソロ歌唱④	28	課題曲(バラードナンバー)のソロ歌唱③	
	11	課題曲(バラードナンバー)選考、全体歌唱	29	課題曲(デュオ、デュエット)選考、全体歌唱	
	12	課題曲(バラードナンバー)の全体、グループ歌唱	30	課題曲(デュオ、デュエット)全体、グループ歌唱	
	13	課題曲(バラードナンバー)のソロ歌唱①	31	課題曲(デュオ、デュエット)歌唱①	
	14	課題曲(バラードナンバー)のソロ歌唱②	32	課題曲(デュオ、デュエット)歌唱②	
	15	課題曲(バラードナンバー)のソロ歌唱③	33	課題曲(アップテンポ・バラード)テスト	
	16	課題曲(バラードナンバー)のソロ歌唱④	34	確認テスト・まとめ1	
	17	課題曲(アップテンポナンバー)の前期発表	35	確認テスト・まとめ2	
18	課題曲(バラードナンバー)の前期発表	36	確認テスト・まとめ3		
成績割合	テスト	50%	学習FB方法	前期・後期 成績表送付	
	学習態度・出席率	50%			
	レポート		成績評価	出席率80%以上 S90~100点 A80~89 B70~79点 C60~69点 D59点以下は不合格	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>50% R<<実働実践型学習>>30% A<<主体的参加型学習>>20% G<<海外体感型学習>>				
講師プロフィール	1999年『The Singers』(博品館)のテーマ曲を発表し、NASAの名で作詞・作曲家としてデビュー、歌唱指導としても活動。主な作品に『A NEW MUSICAL クロスハート』『道化の瞳』『私のダーリン』『THE TAP GUY』他(作曲・歌唱指導)、『ピーターパン』、『年中無休!』『悪魔の毒毒モンスター』(歌唱指導)など多数。				

シラバス

科目名	舞台実習 I		担当者名	眞鍋 卓嗣	
学科	声優・演劇科 俳優コース		授業方法	実習・実技	
認定単位 開講学年	3単位 1学年	開講期 必・選	前期・後期・ 通年 必修・選択・ 必修選択	授業時間数	108時間(週講時数 3)
授業目的	俳優・声優に必要な演技力を身につける				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	1、ダンスを通じたコミュニケーションを知る。 2、言葉を使わない表現を通じて、表現方法に幅を生む。 3、身体を使う基礎を学び、ダンス技術が周囲と自らにもたらす効果を体感する。				
授業概要	(1)シアター・ムーブメント(舞台上での身体の獲得・心と体を結び表現につなげる)。(2)シアター・ゲーム(コミュニケーション能力を養う。想像力を養う)。(3)戯曲を読む(戯曲の読み方、役への向き合い方、読み合わせ)。(4)立ち稽古をし、ワンシーンを上演する。				
授業計画表		授業内容		授業内容	
	1	オリエンテーション1	19	戯曲を読む	
	2	オリエンテーション2	20	戯曲を読む	
	3	オリエンテーション3	21	戯曲を読む	
	4	シアター・ゲーム	22	戯曲を読む	
	5	シアター・ゲーム	23	立ち稽古をし、ワンシーンを上演する	
	6	シアター・ゲーム	24	立ち稽古をし、ワンシーンを上演する	
	7	シアター・ゲーム	25	立ち稽古をし、ワンシーンを上演する	
	8	シアター・ゲーム	26	立ち稽古をし、ワンシーンを上演する	
	9	シアター・ゲーム	27	立ち稽古をし、ワンシーンを上演する	
	10	シアター・ゲーム	28	立ち稽古をし、ワンシーンを上演する	
	11	シアター・ムーブメント	29	立ち稽古をし、ワンシーンを上演する	
	12	シアター・ムーブメント	30	立ち稽古をし、ワンシーンを上演する	
	13	シアター・ムーブメント	31	立ち稽古をし、ワンシーンを上演する	
	14	シアター・ムーブメント	32	立ち稽古をし、ワンシーンを上演する	
	15	シアター・ムーブメント	33	立ち稽古をし、ワンシーンを上演する	
	16	戯曲を読む	34	確認テスト・まとめ1	
	17	戯曲を読む	35	確認テスト・まとめ2	
18	戯曲を読む	36	確認テスト・まとめ3		
成績割合	テスト	50%	学習FB方法	前期・後期 成績表送付	
	学習態度・出席率	50%			
	レポート	0%	成績評価	出席率80%以上 S90~100点 A80~89 B70~79点 C60~69点 D59点以下は不合格	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<課題解決型学習>40% R<実働実践型学習>20% A<主体的参加型学習>40% G<海外体感型学習>				
講師プロフィール	劇団俳優座に所属している。演出作品多数。				

シラバス

科目名	アフレコ実習 I		担当者名	川本 宗紀	
学科	声優・演劇科 俳優コース		授業方法	実習・実技	
認定単位 開講学年	3単位 1学年	開講期 必・選	前期・後期・ 通年 必修・選択・ 必修選択	授業時間数	108時間(週講時数 3)
授業目的	演技の基本的な事を知ってもらい、同時に人間性を磨く。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	1、ダンスを通じたコミュニケーションを知る。 2、言葉を使わない表現を通じて、表現方法に幅を生む。 3、身体を使う基礎を学び、ダンス技術が周囲と自らにもたらす効果を体感する。				
授業概要	台本を用いて、発声、滑舌、感情解放、距離感の向上を目指し、 また、キャラクターに合わせた声の作り方と収録時の注意、マイクワークを学んでもらう。 授業後半では、作品のラジオ番組を主演者同士で話し合い、台本を作ってもらう。				
授業計画表		授業内容		授業内容	
	1	オリエンテーション1	19	一度台本を落とし、体を動かす	
	2	オリエンテーション2	20	一度台本を落とし、体を動かす	
	3	オリエンテーション3	21	一度台本を落とし、体を動かす	
	4	滑舌練習	22	役者同士でイメージのすり合わせ・コミュ力向上	
	5	滑舌練習	23	役者同士でイメージのすり合わせ・コミュ力向上	
	6	滑舌練習	24	役者同士でイメージのすり合わせ・コミュ力向上	
	7	ドラマCD台本読み合わせ	25	役者同士でイメージのすり合わせ・コミュ力向上	
	8	ドラマCD台本読み合わせ	26	マイクワーク	
	9	ドラマCD台本読み合わせ	27	マイクワーク	
	10	ドラマCD台本読み合わせ	28	マイクワーク	
	11	キャラクターに合わせた声の作り方	29	マイクワーク	
	12	キャラクターに合わせた声の作り方	30	収録時の注意	
	13	キャラクターに合わせた声の作り方	31	収録時の注意	
	14	キャラクターに合わせた声の作り方	32	収録時の注意	
	15	キャラクターに合わせた声の作り方	33	ラジオ実習	
	16	キャラクターを決定し、読み合わせ	34	確認テスト・まとめ1	
	17	キャラクターを決定し、読み合わせ	35	確認テスト・まとめ2	
18	キャラクターを決定し、読み合わせ	36	確認テスト・まとめ3		
成績割合	テスト	50%	学習FB方法	前期・後期 成績表送付	
	学習態度・出席率	50%			
	レポート	0%	成績評価	出席率80%以上 S90~100点 A80~89 B70~79点 C60~69 点 D59点以下は不合格	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>40% R<<実働実践型学習>>20% A<<主体的参加型学習>>40% G<<海外体感型学習>>				
講師プロフィール	東京工学院専門学校を卒業後、某ゲームの主人公、ドラマCD等に出演。その後、自分で制作した作品の声をやりたいと思い、学校で学んだ事と独学で、動画やゲーム、ドラマCD、アニメ等を合計で400本以上制作。				

シラバス

科目名	修了制作		担当者名	宮崎 誠二	
学科	声優・演劇科 俳優コース		授業方法	実習・実技	
認定単位 開講学年	4単位 1学年	開講期 必・選	前期・後期・ 通年 必修・選択・ 必修選択	授業時間数	144時間(週講時数 4)
授業目的	表現者に必要な知識・技術を学ぶ。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	1、ダンスを通じたコミュニケーションを知る。 2、言葉を使わない表現を通じて、表現方法に幅を生む。 3、身体を使う基礎を学び、ダンス技術が周囲と自らにもたらす効果を体感する。				
授業概要	シアターゲームや座学によって、知識と技術を同時に身に付け、修了制作を行えるようにする。				
授業計画表				授業内容	
	1	オリエンテーション1	19	行動の動機付け	
	2	オリエンテーション2	20	行動の動機付け	
	3	オリエンテーション3	21	台本解釈	
	4	発音・発声の基本	22	キャラクター確立のためのエチュード	
	5	正しい日本語とは	23	キャラクター確立のためのエチュード	
	6	身体の意識	24	キャラクター確立のためのエチュード	
	7	“考える”と“感じる”	25	キャラクター確立のためのエチュード	
	8	癖ではなく表現する	26	キャラクター確立のためのエチュード	
	9	共通認識	27	キャラクター確立のためのエチュード	
	10	感覚の記憶の再現	28	キャラクター確立のためのエチュード	
	11	感情の記憶の再現	29	キャラクター確立のためのエチュード	
	12	自意識と集中の輪	30	キャラクター確立のためのエチュード	
	13	アクセントについて	31	キャラクター確立のためのエチュード	
	14	短文テキスト読み①	32	キャラクター確立のためのエチュード	
	15	台本解釈	33	キャラクター確立のためのエチュード	
	16	短文テキスト読み②	34	確認テスト・まとめ1	
	17	台本解釈	35	確認テスト・まとめ2	
18	サブ・テキストとは	36	確認テスト・まとめ3		
成績割合	テスト	40%	学習FB方法	前期・後期 成績表送付	
	学習態度・出席率	50%			
	レポート	10%	成績評価	出席率80%以上 S90~100点 A80~89 B70~79点 C60~69 点 D59点以下は不合格	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<課題解決型学習>40% R<実働実践型学習>20% A<主体的参加型学習>40% G<海外体感型学習>				
講師プロフィール	宮崎誠二:スタジオえっせんず代表。劇団獣申 主宰。 TV、ドラマCD、ゲーム等の音響演出、音響効果を担当。最新作は「創の軌跡」(日本ファルコム)				

シラバス

科目名	基礎ゼミ I A		担当者名	日高 俊樹	
学科	声優・演劇科 俳優コース		授業方法	講義、実習、実技	
認定単位 開講学年	2単位 1学年	開講期 必・選	前期・後期・ 通年 必修・選択・ 必修選択	授業時間数	36時間(週講時数 1)
授業目的	俳優、声優を目指すうえで世の中の「公演」がどのように作られているか仕組みを理解する。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	1、ダンスを通じたコミュニケーションを知る。 2、言葉を使わない表現を通じて、表現方法に幅を生む。 3、身体を使う基礎を学び、ダンス技術が周囲と自らにもたらす効果を体感する。				
授業概要	前期はクラスを5つのグループに分け、テーマに沿った探求、発表を行い、クラス全体で公演の仕組みを理解する。そこから見えてきたものを踏まえ、クラス全体で一つの公演を作り上げる。 後期ではそれぞれの立場に立ち、公演を制作してゆく。				
授業計画表	授業内容			授業内容	
	1	オリエンテーション1	19	公演作品決定/役割分担	
	2	オリエンテーション2	20	公演制作1	
	3	オリエンテーション3	21	公演制作2	
	4	公演の流れを知る【事例探求】1	22	公演制作3	
	5	公演の流れを知る【事例探求】2	23	公演制作4	
	6	公演の流れを知る【事例探求】3	24	公演制作5	
	7	海外の公演の流れを探究【事例探求】1	25	公演制作6	
	8	海外の公演の流れを探究【事例探求】2	26	公演制作7	
	9	海外の公演の流れを探究【事例探求】3	27	公演制作8	
	10	海外と日本の公演の在り方レポート1	28	公演制作9	
	11	海外と日本の公演の在り方レポート2	29	公演制作10	
	12	自分たちが作る理想の公演の在り方とは1	30	公演制作11	
	13	自分たちが作る理想の公演の在り方とは2	31	公演制作12	
	14	自分たちが作る理想の公演の在り方とは3	32	公演制作13	
	15	自分たちの考える理想の公演発表	33	発表	
	16	まとめ	34	確認テスト・まとめ1	
	17	公演作品共有1	35	確認テスト・まとめ2	
18	公演作品共有2	36	確認テスト・まとめ3		
成績割合	テスト	10%	学習FB方法	前期・後期 成績表送付	
	学習態度・出席率	50%			
	レポート	40%	成績評価	出席率80%以上 S90~100点 A80~89 B70~79点 C60~69 点 D59点以下は不合格	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>50% R<<実働実践型学習>>20% A<<主体的参加型学習>>20% G<<海外体感型学習>>10%				
講師プロフィール	日高俊樹:文学座演技研究所卒業 1年間雨オリカ・ロサンゼルススの演劇学校に留学。帰国後「グダイメイト」を主宰し、演劇ワークショップを行いながら自らも俳優・演出家として活躍している。				

シラバス

科目名	基礎ゼミ I B		担当者名	日高 俊樹	
学科	声優・演劇科 俳優コース		授業方法	講義、実習、実技	
認定単位 開講学年	2単位 1学年	開講期 必・選	前期・後期・ 通年 必修・選択 必修選択	授業時間数	36時間(週講時数 1)
授業目的	俳優、声優を目指すうえで世の中の「公演」がどのように作られているか仕組みを理解する。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	1、ダンスを通じたコミュニケーションを知る。 2、言葉を使わない表現を通じて、表現方法に幅を生む。 3、身体を使う基礎を学び、ダンス技術が周囲と自らにもたらす効果を体感する。				
授業概要	前期はクラスを5つのグループに分け、テーマに沿った探求、発表を行い、クラス全体で公演の仕組みを理解する。そこから見えてきたものを踏まえ、クラス全体で一つの公演を作り上げる。 後期ではそれぞれの立場に立ち、公演を制作してゆく。				
授業計画表		授業内容		授業内容	
	1	オリエンテーション1	19	公演作品決定/役割分担	
	2	オリエンテーション2	20	公演制作1	
	3	オリエンテーション3	21	公演制作2	
	4	公演の流れを知る【事例探求】1	22	公演制作3	
	5	公演の流れを知る【事例探求】2	23	公演制作4	
	6	公演の流れを知る【事例探求】3	24	公演制作5	
	7	海外の公演の流れを探究【事例探求】1	25	公演制作6	
	8	海外の公演の流れを探究【事例探求】2	26	公演制作7	
	9	海外の公演の流れを探究【事例探求】3	27	公演制作8	
	10	海外と日本の公演の在り方レポート1	28	公演制作9	
	11	海外と日本の公演の在り方レポート2	29	公演制作10	
	12	自分たちが作る理想の公演の在り方とは1	30	公演制作11	
	13	自分たちが作る理想の公演の在り方とは2	31	公演制作12	
	14	自分たちが作る理想の公演の在り方とは3	32	公演制作13	
	15	自分たちの考える理想の公演発表	33	発表	
	16	まとめ	34	確認テスト・まとめ1	
	17	公演作品共有1	35	確認テスト・まとめ2	
18	公演作品共有2	36	確認テスト・まとめ3		
成績割合	テスト	10%	学習FB方法	前期・後期 成績表送付	
	学習態度・出席率	50%			
	レポート	40%	成績評価	出席率80%以上 S90~100点 A80~89 B70~79点 C60~69 点 D59点以下は不合格	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>50% R<<実働実践型学習>>20% A<<主体的参加型学習>>20% G<<海外体感型学習>>10%				
講師プロフィール	日高俊樹:文学座演技研究所卒業 1年間雨オリカ・ロサンゼルススの演劇学校に留学。帰国後「グダイメイト」を主宰し、演劇ワークショップを行いながら自らも俳優・演出家として活躍している。				

シラバス

科目名	ビジネススキルⅡ		担当者名	牛房やよい	
学科	声優・演劇科 俳優コース		授業方法	講義、実習	
認定単位 開講学年	2単位 2学年	開講期 必・選	前期・後期・ 通年 必修 ・選・必修選択	授業時間数	36時間(週講時数 1)
授業目的	未来・社会を生きていくスキルをつける				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	1、ダンスを通じたコミュニケーションを知る。 2、言葉を使わない表現を通じて、表現方法に幅を生む。 3、身体を使う基礎を学び、ダンス技術が周囲と自らにもたらす効果を体感する。				
授業概要	<ul style="list-style-type: none"> 挨拶・マナーの徹底(メイク・服装・言葉遣い等々) 日々の連絡事項の伝達 ・面談を行い、個人へのサポート オーディション情報の伝達 ・進路相談 問題(テーマ)に関するディスカッション 				
授業計画表		授業内容		授業内容	
	1	オリエンテーション1	19	後期授業についてのオリエンテーション	
	2	オリエンテーション2	20	面談・マナー講座	
	3	オリエンテーション3	21	一般常識テスト	
	4	授業についてのオリエンテーション	22	テーマディスカッション	
	5	面談・マナー講座	23	面談・マナー講座	
	6	一般常識テスト	24	一般常識テスト	
	7	テーマディスカッション	25	テーマディスカッション	
	8	面談・マナー講座	26	面談・マナー講座	
	9	一般常識テスト	27	一般常識テスト	
	10	テーマディスカッション	28	テーマディスカッション	
	11	面談・マナー講座	29	面談・マナー講座	
	12	一般常識テスト	30	一般常識テスト	
	13	テーマディスカッション	31	テーマディスカッション	
	14	面談・マナー講座	32	面談・マナー講座	
	15	一般常識テスト	33	面談・マナー講座	
	16	テーマディスカッション	34	確認テスト・まとめ1	
	17	面談・マナー講座	35	確認テスト・まとめ2	
18	前期まとめ	36	確認テスト・まとめ3		
成績割合	テスト	40%	学習FB方法	前期・後期 成績表送付	
	学習態度・出席率	40%			
	レポート	20%	成績評価	出席率80%以上 S90~100点 A80~89 B70~79点 C60~69 点 D59点以下は不合格	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>30% R<<実働実践型学習>>30% A<<主体的参加型学習>>30% G<<海外体感型学習>>10%				
講師プロフィール	担任教員:牛房やよい プロダクションでの活動を経て、演劇企画・由木事務所にて公演活動が続けながら、1991年教員として着任、現在は公演企画時に制作として携わる等活動をおこなっている。				

シラバス

科目名	業界セミナー		担当者名	土方 恵美	
学科	声優・演劇科 俳優コース		授業方法	講義、実習、実技	
認定単位 開講学年	2単位 2学年	開講期 必・選	前期・後期・ 通年 必修・選択・ 必修選択	授業時間数	72時間(週講時数 2)
授業目的	表現者において卒業後即戦力として活躍するのに必要な技術と知識の習得				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	1、ダンスを通じたコミュニケーションを知る。 2、言葉を使わない表現を通じて、表現方法に幅を生む。 3、身体を使う基礎を学び、ダンス技術が周囲と自らにもたらす効果を体感する。				
授業概要	前期は業界に精通している社会のプロフェッショナルを呼んでの講義を行い、業界理解を深める。 実際に外部のスタジオへ出てレッスンを重ねてゆく。				後期は実
授業計画表	授業内容				
	1	オリエンテーション1	19	山崎:外部スタジオレッスン1	
	2	オリエンテーション2	20	山崎:外部スタジオレッスン2	
	3	オリエンテーション3	21	山崎:外部スタジオレッスン3	
	4	小金丸:声優と舞台1	22	山崎:外部スタジオレッスン4	
	5	小金丸:声優と舞台2	23	山崎:外部スタジオレッスン5	
	6	小金丸:声優と舞台3	24	山崎:外部スタジオレッスン6	
	7	小金丸:声優と舞台4	25	山崎:外部スタジオレッスン7	
	8	山崎:表現者として必要なチカラ1	26	山崎:外部スタジオレッスン8	
	9	山崎:表現者として必要なチカラ2	27	山崎:外部スタジオレッスン9	
	10	山崎:表現者として必要なチカラ3	28	山崎:外部スタジオレッスン10	
	11	山崎:表現者として必要なチカラ4	29	山崎:外部スタジオレッスン11	
	12	メイクアップアーティスト:メイク講座1	30	山崎:外部スタジオレッスン12	
	13	メイクアップアーティスト:メイク講座2	31	山崎:外部スタジオレッスン13	
	14	土方:声優、俳優を取り巻く環境1	32	山崎:外部スタジオレッスン14	
	15	土方:声優、俳優を取り巻く環境2	33	山崎:外部スタジオレッスン15	
	16	土方:声優、俳優を取り巻く環境3	34	確認テスト・まとめ1	
	17	土方:声優、俳優を取り巻く環境4	35	確認テスト・まとめ2	
	18	まとめ	36	確認テスト・まとめ3	
成績割合	テスト	40%	学習FB方法	前期・後期 成績表送付	
	学習態度・出席率	30%			
	レポート	30%	成績評価	出席率80%以上 S90~100点 A80~89 B70~79点 C60~69 点 D59点以下は不合格	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>50% R<<実働実践型学習>>20% A<<主体的参加型学習>>20% G<<海外体感型学習>>10%				
講師プロフィール	土方…劇団青年座を経て劇団NLT所属。舞台、海外ドラマの吹き替え等女優活動を経て、2009年教員として着任。小金丸氏…日本の劇作家、脚本家、漫画原作者。劇団「演劇制作体V-NET」を主宰している。山崎氏…株式会社ボイスアクターズスタイル社長、プロモーター、プロデューサーとして養成所を運営している。				

シラバス

科目名	オーディション対策セミナーⅡ		担当者名	大塚 規子	
学科	声優・演劇科 俳優コース		授業方法	実習、実技	
認定単位 開講学年	2単位 2学年	開講期 必・選	前期・後期・ 通年 必修・選択・ 必修選択	授業時間数	72時間(週講時数 2)
授業目的	演劇業界で活躍出来る表現者の育成				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	1、ダンスを通じたコミュニケーションを知る。 2、言葉を使わない表現を通じて、表現方法に幅を生む。 3、身体を使う基礎を学び、ダンス技術が周囲と自らにもたらす効果を体感する。				
授業概要	オーディション形式の授業により、オーディションの空気に慣れる。 芝居を体験することにより、本番の緊張感に対応出来るようになる。 オーディションにより役を勝ち取るという意識を持つ。				キャスティングオー
授業計画表	授業内容			授業内容	
	1	オリエンテーション1	19	立ち稽古	
	2	オリエンテーション2	20	立ち稽古	
	3	オリエンテーション3	21	立ち稽古	
	4	オーディション練習①	22	立ち稽古	
	5	台本(本読み)	23	仕上げ(本番)	
	6	台本(本読み)	24	オーディション練習③	
	7	キャスティングオーディション	25	台本(本読み)	
	8	台本(本読み)	26	キャスティングオーディション	
	9	立ち稽古	27	台本(本読み)	
	10	立ち稽古	28	立ち稽古	
	11	立ち稽古	29	立ち稽古	
	12	立ち稽古	30	立ち稽古	
	13	仕上げ(本番)	31	立ち稽古	
	14	オーディション練習②	32	立ち稽古	
	15	台本(本読み)	33	仕上げ(本番)	
	16	台本(本読み)	34	確認テスト・まとめ1	
	17	キャスティングオーディション	35	確認テスト・まとめ2	
	18	台本(本読み)	36	確認テスト・まとめ3	
成績割合	テスト	50%	学習FB方法	前期・後期 成績表送付	
	学習態度・出席率	50%			
	レポート	0%	成績評価	出席率80%以上 S90~100点 A80~89 B70~79点 C60~69 点 D59点以下は不合格	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<課題解決型学習>40% R<実働実践型学習>20% A<主体的参加型学習>40% G<海外体感型学習>				
講師プロフィール	劇団悪役商会、石井光三オフィスでの演劇活動を経て、日本ナレーション演技研究所の講師を22年間つとめる。演技指導の講師であり、台本の執筆、演出にも力を入れている。				

シラバス

科目名	ダンスⅡ		担当者名	遠野 祥	
学科	声優・演劇科 俳優コース		授業方法	実習・実技	
認定単位 開講学年	2単位 2学年	開講期 必・選	前期・後期・ 通年 必修・選択・ 必修選択	授業時間数	144時間(週講時数 4)
授業目的	ダンス技術習得と表現の実践				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	1、ダンスを通じたコミュニケーションを知る。 2、言葉を使わない表現を通じて、表現方法に幅を生む。 3、身体を使う基礎を学び、ダンス技術が周囲と自らにもたらす効果を体感する。				
授業概要	ダンスの基礎を学び、技術と表現を実践して人に見せる事から多様な表現方法の経験を創造します。				
授業計画表	授業内容			授業内容	
	1	オリエンテーション1	19	基礎の理解、振付2曲目	
	2	オリエンテーション2	20	基礎の理解、振付2曲目	
	3	オリエンテーション3	21	基礎の理解、振付2曲目	
	4	基礎の順番記憶、習慣づくり、振付1曲目	22	基礎の理解、振付2曲目	
	5	基礎の順番記憶、習慣づくり、振付1曲目	23	基礎の理解、振付2曲目	
	6	基礎の順番記憶、習慣づくり、振付1曲目	24	基礎の理解、振付2曲目	
	7	基礎の順番記憶、習慣づくり、振付1曲目	25	基礎の理解、振付2曲目	
	8	基礎の順番記憶、習慣づくり、振付1曲目	26	基礎の理解、振付2曲目	
	9	基礎の順番記憶、習慣づくり、振付1曲目	27	基礎の理解、振付2曲目	
	10	基礎の順番記憶、習慣づくり、振付1曲目	28	基礎の理解、振付2曲目	
	11	基礎の順番記憶、習慣づくり、振付1曲目	29	基礎の理解、振付2曲目	
	12	基礎の理解、振付1曲目	30	基礎の理解、振付2曲目	
	13	基礎の理解、振付1曲目	31	基礎の理解、振付2曲目	
	14	基礎の理解、振付1曲目	32	基礎の理解、振付2曲目	
	15	基礎の理解、振付1曲目	33	基礎の理解、振付2曲目	
	16	基礎の理解、振付1曲目	34	確認テスト・まとめ1	
	17	基礎の理解、振付1曲目	35	確認テスト・まとめ2	
18	基礎の理解、振付1曲目、発表	36	確認テスト・まとめ3		
成績割合	テスト	40%	学習FB方法	前期・後期 成績表送付	
	学習態度・出席率	60%			
	レポート	0%	成績評価	出席率80%以上 S90~100点 A80~89 B70~79点 C60~69 点 D59点以下は不合格	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>40% R<<実働実践型学習>>30% A<<主体的参加型学習>>30% G<<海外体感型学習>>				
講師プロフィール	日本ジャズダンス芸術協会ダンスコンクール第1位。 イギリスエジンバラ演劇祭、フランスアビニオン演劇祭およびギリシャ、ニューヨーク公演、オーストラリア、カナダ、中国公演など延べ17ヶ国での公演にメインキャストとして出演。				

シラバス

科目名	舞台実習Ⅱ		担当者名	眞鍋 卓嗣	
学科	声優・演劇科 俳優コース		授業方法	実習・実技	
認定単位 開講学年	3単位 2学年	開講期 必・選	前期・後期・ 通年 必修・選択・ 必修選択	授業時間数	108時間(週講時数 3)
授業目的	俳優・声優に必要な演技力を身につける				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	1、ダンスを通じたコミュニケーションを知る。 2、言葉を使わない表現を通じて、表現方法に幅を生む。 3、身体を使う基礎を学び、ダンス技術が周囲と自らにもたらす効果を体感する。				
授業概要	(1)シアター・ムーブメント(舞台上での身体の獲得・心と体を結び表現につなげる)。(2)シアター・ゲーム(コミュニケーション能力を養う。想像力を養う)。(3)戯曲を読む(戯曲の読み方、役への向き合い方、読み合わせ)。(4)立ち稽古をし、ワンシーンを上演する。				
授業計画表	授業内容			授業内容	
	1	オリエンテーション1	19	戯曲を読む	
	2	オリエンテーション2	20	戯曲を読む	
	3	オリエンテーション3	21	戯曲を読む	
	4	シアター・ゲーム	22	戯曲を読む	
	5	シアター・ゲーム	23	立ち稽古をし、ワンシーンを上演する	
	6	シアター・ゲーム	24	立ち稽古をし、ワンシーンを上演する	
	7	シアター・ゲーム	25	立ち稽古をし、ワンシーンを上演する	
	8	シアター・ゲーム	26	立ち稽古をし、ワンシーンを上演する	
	9	シアター・ゲーム	27	立ち稽古をし、ワンシーンを上演する	
	10	シアター・ゲーム	28	立ち稽古をし、ワンシーンを上演する	
	11	シアター・ムーブメント	29	立ち稽古をし、ワンシーンを上演する	
	12	シアター・ムーブメント	30	立ち稽古をし、ワンシーンを上演する	
	13	シアター・ムーブメント	31	立ち稽古をし、ワンシーンを上演する	
	14	シアター・ムーブメント	32	立ち稽古をし、ワンシーンを上演する	
	15	シアター・ムーブメント	33	立ち稽古をし、ワンシーンを上演する	
	16	戯曲を読む	34	確認テスト・まとめ1	
	17	戯曲を読む	35	確認テスト・まとめ2	
18	戯曲を読む	36	確認テスト・まとめ3		
成績割合	テスト	50%	学習FB方法	前期・後期 成績表送付	
	学習態度・出席率	50%			
	レポート	0%	成績評価	出席率80%以上 S90~100点 A80~89 B70~79点 C60~69点 D59点以下は不合格	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<課題解決型学習>40% R<実働実践型学習>20% A<主体的参加型学習>40% G<海外体感型学習>				
講師プロフィール	劇団俳優座に所属している。演出作品多数。				

シラバス

科目名	アフレコ実習Ⅱ		担当者名	川本 宗紀	
学科	声優・演劇科 俳優コース		授業方法	実習・実技	
認定単位 開講学年	3単位 2学年	開講期 必・選	前期・後期・ 通年 必修・選択・ 必修選択	授業時間数	108時間(週講時数 3)
授業目的	演技力の向上及びコミュニケーション力の向上				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	1、ダンスを通じたコミュニケーションを知る。 2、言葉を使わない表現を通じて、表現方法に幅を生む。 3、身体を使う基礎を学び、ダンス技術が周囲と自らにもたらす効果を体感する。				
授業概要	ラジオ台本を作成してもらい、その実演。 台本を用いて、滑舌、感情解放、会話の距離感、台本の読解力の向上、 収録時の注意をしていく。 また、演技や台本の内容について話し合わせ、コミュニケーション力も同時に向上を目指す。				
授業計画表		授業内容		授業内容	
	1	オリエンテーション1	19	マイクワーク	
	2	オリエンテーション2	20	マイクワーク	
	3	オリエンテーション3	21	マイクワーク	
	4	ラジオ実習とコミュ力向上	22	マイクワーク	
	5	ラジオ実習とコミュ力向上	23	ゲーム台本・収録方法の違いを説明	
	6	ラジオ実習とコミュ力向上	24	ゲーム台本読み合わせ	
	7	ラジオ実習とコミュ力向上	25	Cv決定し、読み合わせ	
	8	ドラマCD台本読み合わせ	26	Cv決定し、読み合わせ	
	9	ドラマCD台本読み合わせ	27	Cv決定し、読み合わせ	
	10	ドラマCD台本読み合わせ	28	マイクワーク	
	11	ドラマCD台本読み合わせ	29	マイクワーク	
	12	キャラクターを決定し、読み合わせ	30	マイクワーク	
	13	キャラクターを決定し、読み合わせ	31	ラジオ実習(コミュ力向上)	
	14	キャラクターを決定し、読み合わせ	32	ラジオ実習(コミュ力向上)	
	15	台本の世界観を話し合う(コミュ力向上)	33	ラジオ実習(コミュ力向上)	
	16	台本の世界観を話し合う(コミュ力向上)	34	確認テスト・まとめ1	
	17	台本の世界観を話し合う(コミュ力向上)	35	確認テスト・まとめ2	
18	読み合わせ	36	確認テスト・まとめ3		
成績割合	テスト	50%	学習FB方法	前期・後期 成績表送付	
	学習態度・出席率	50%			
	レポート	0%	成績評価	出席率80%以上 S90~100点 A80~89 B70~79点 C60~69 点 D59点以下は不合格	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>40% R<<実働実践型学習>>20% A<<主体的参加型学習>>40% G<<海外体感型学習>>				
講師プロフィール	東京工学院専門学校を卒業後、某ゲームの主人公、ドラマCDに出演。その後、自分で制作した作品の声をやりたいと思い、学校で学んだ事と独学で、動画やゲーム、ドラマCD、アニメ等を合計で400本以上制作。				

シラバス

科目名	ヴォーカルトレーニングⅡ		担当者名	熊坂 正実	
学科	声優・演劇科 俳優コース		授業方法	実習・実技	
認定単位 開講学年	2単位 2学年	開講期 必・選	前期・後期 必修・選択・ 通年 必修選択	授業時間数	72時間(週講時数 2)
授業目的	表現者としての身体の使い方・発声・発語・呼吸法を、歌唱を通して体得する。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	1、ダンスを通じたコミュニケーションを知る。 2、言葉を使わない表現を通じて、表現方法に幅を生む。 3、身体を使う基礎を学び、ダンス技術が周囲と自らにもたらす効果を体感する。				
授業概要	発声法・呼吸法・発語法など、歌唱の基礎となる技術を個人レッスンで指導。 また、フレージングやアーティキュレーションなどの楽曲理解やアナリゼを通し、 自らが奏でる声(メロディー)の「表現力」・音源や伴奏(ハーモニー)から受け取る「感性」を鍛える。				
授業計画表		授業内容		授業内容	
	1	オリエンテーション1	19	楽曲への応用(課題曲)	
	2	オリエンテーション2	20	感情表現と歌唱法・表現法	
	3	オリエンテーション3	21	感情表現と歌唱法・表現法	
	4	全体基礎練習(発声法・呼吸法・発語法)	22	楽曲への応用(課題曲)	
	5	全体基礎練習(発声法・呼吸法・発語法)	23	楽曲への応用(課題曲)	
	6	全体基礎練習(発声法・呼吸法・発語法)	24	アナリゼと楽曲研究	
	7	音程・リズム・テンポの基礎練習	25	アナリゼと楽曲研究	
	8	音程・リズム・テンポの基礎練習	26	楽曲への応用(自由曲)	
	9	楽曲への応用(課題曲)	27	楽曲への応用(自由曲)	
	10	楽曲への応用(課題曲)	28	作品としての楽曲制作(自由曲)	
	11	フレージング・アーティキュレーションの基礎練習	29	作品としての楽曲制作(自由曲)	
	12	フレージング・アーティキュレーションの基礎練習	30	作品としての楽曲制作(自由曲)	
	13	楽曲への応用(課題曲)	31	作品としての楽曲制作(自由曲)	
	14	楽曲への応用(課題曲)	32	作品としての楽曲制作(自由曲)	
	15	前期試験	33	作品としての楽曲制作(自由曲)	
	16	デュエットのアプローチ法・演奏法	34	確認テスト・まとめ1	
	17	デュエットのアプローチ法・演奏法	35	確認テスト・まとめ2	
18	楽曲への応用(課題曲)	36	確認テスト・まとめ3		
成績割合	テスト	50%	学習FB方法	前期・後期 成績表送付	
	学習態度	30%			
	レポート	20%	成績評価	出席率:80%以上 S90~100点 A80~89点 B70~79点 C 60~69点 D59点以下は不合格	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<課題解決型学習>30% R<実働実践型学習>30% A<主体的参加型学習>30% G<海外体感型学習>10%				
講師プロフィール	武蔵野音楽大学音楽学部声楽科卒業、日本オペラ振興会オペラ歌手育成部修了。国内各所でのオペラ公演やミュージカル、ディナーショーやジャズライブ等のステージに出演。				

シラバス

科目名	卒業制作		担当者名	宮崎 誠二	
学科	声優・演劇科 俳優コース		授業方法	実習・実技	
認定単位 開講学年	6単位 2学年	開講期 必・選	前期・後期・ 通年 必修・選択・ 必修選択	授業時間数	180時間(週講時数5)
授業目的	表現者に必要な知識・技術を学ぶ。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	1、ダンスを通じたコミュニケーションを知る。 2、言葉を使わない表現を通じて、表現方法に幅を生む。 3、身体を使う基礎を学び、ダンス技術が周囲と自らにもたらす効果を体感する。				
授業概要	エチュード、シアターゲーム、座学によって、基本を丁寧に復習し、 高度な卒業公演を行えるようにする。			考える力を身に付け、	
授業計画表			授業内容		
	1	オリエンテーション1	19	行動の動機付け	
	2	オリエンテーション2	20	行動の動機付け	
	3	オリエンテーション3	21	台本解釈	
	4	発音・発声の復習	22	キャラクター確立のためのエチュード	
	5	正しい日本語とは	23	キャラクター確立のためのエチュード	
	6	身体の意識	24	キャラクター確立のためのエチュード	
	7	“考える”と“感じる”	25	キャラクター確立のためのエチュード	
	8	癖ではなく表現する	26	キャラクター確立のためのエチュード	
	9	共通認識	27	キャラクター確立のためのエチュード	
	10	感覚の記憶の再現	28	キャラクター確立のためのエチュード	
	11	感情の記憶の再現	29	キャラクター確立のためのエチュード	
	12	自意識と集中の輪	30	キャラクター確立のためのエチュード	
	13	アクセントについて	31	キャラクター確立のためのエチュード	
	14	短文テキスト読み①	32	キャラクター確立のためのエチュード	
	15	台本解釈	33	キャラクター確立のためのエチュード	
	16	短文テキスト読み②	34	確認テスト・まとめ1	
	17	台本解釈	35	確認テスト・まとめ2	
	18	サブ・テキストとは	36	確認テスト・まとめ3	
成績割合	テスト	40%	学習FB方法	前期・後期 成績表送付	
	学習態度・出席率	50%			
	レポート	10%	成績評価		
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<課題解決型学習>40% R<実働実践型学習>20% A<主体的参加型学習>40% G<海外体感型学習>				
講師プロフィール	宮崎誠二:スタジオえっせんず代表。劇団獣申 主宰。 TV、ドラマCD、ゲーム等の音響演出、音響効果を担当。最新作は「創の軌跡」(日本ファルコム)				

シラバス

科目名	応用ゼミⅡB		担当者名	日高 俊樹	
学科	声優・演劇科 俳優コース		授業方法	講義、実習	
認定単位 開講学年	2単位 2学年	開講期 必・選	前期・後期・ 通年 必修・選択・ 必修選択	授業時間数	36時間(週講時数 1)
授業目的	演劇をエンターテインメントの枠だけでなく、社会の中でどのような役割を担っているかを理解する。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	1、ダンスを通じたコミュニケーションを知る。 2、言葉を使わない表現を通じて、表現方法に幅を生む。 3、身体を使う基礎を学び、ダンス技術が周囲と自らにもたらす効果を体感する。				
授業概要	前期はクラスを5つのグループに分け、テーマに沿った探求を行う【教育業界、介護福祉業界などからテーマに沿った講演会、フィールドワークなど】演劇の可能性を探り広げる。 そこから見えてきたものを踏まえ、自分たちで1つの地域社会(テーマ)を取り上げ、演劇をツールとした社会貢献を行う。				
授業計画表	授業内容			授業内容	
	1	オリエンテーション1	19	テーマ決定/役割分担	
	2	オリエンテーション2	20	演劇をツールとした社会貢献制作/活動1	
	3	オリエンテーション3	21	演劇をツールとした社会貢献制作/活動2	
	4	演劇の役割とは1	22	演劇をツールとした社会貢献制作/活動3	
	5	演劇の役割とは2	23	演劇をツールとした社会貢献制作/活動4	
	6	演劇の役割とは3	24	演劇をツールとした社会貢献制作/活動5	
	7	演劇をツールとした社会貢献1	25	演劇をツールとした社会貢献制作/活動6	
	8	演劇をツールとした社会貢献2	26	演劇をツールとした社会貢献制作/活動7	
	9	演劇をツールとした社会貢献3	27	演劇をツールとした社会貢献制作/活動8	
	10	海外事例探求1	28	演劇をツールとした社会貢献制作/活動9	
	11	海外事例探求2	29	演劇をツールとした社会貢献制作/活動10	
	12	グループ発表/レポート1	30	演劇をツールとした社会貢献制作/活動11	
	13	講演会1	31	演劇をツールとした社会貢献制作/活動12	
	14	講演会2	32	演劇をツールとした社会貢献制作/活動13	
	15	グループまとめ/レポート2	33	演劇をツールとした社会貢献制作/活動14	
	16	テーマ選出1	34	確認テスト・まとめ1	
	17	テーマ選出2	35	確認テスト・まとめ2	
18	テーマ選出3	36	確認テスト・まとめ3		
成績割合	テスト	40%	学習FB方法	前期・後期 成績表送付	
	学習態度・出席率	30%			
	レポート	30%	成績評価	出席率80%以上 S90~100点 A80~89 B70~79点 C60~69 点 D59点以下は不合格	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<課題解決型学習>50% R<実働実践型学習>20% A<主体的参加型学習>20% G<海外体感型学習>10%				
講師プロフィール	日高俊樹:文学座演技研究所卒業 1年間雨オリカ・ロサンゼルス演劇学校に留学。帰国後「グダイメイト」を主宰し、演劇ワークショップを行いながら自らも俳優・演出家として活躍している。				

シラバス

科目名	応用ゼミⅡA		担当者名	日高 俊樹	
学科	声優・演劇科 俳優コース		授業方法	講義、実習	
認定単位 開講学年	2単位 2学年	開講期 必・選	前期・後期・ 通年 必修・選択・ 必修選択	授業時間数	36時間(週講時数 1)
授業目的	演劇をエンターテインメントの枠だけでなく、社会の中でどのような役割を担っているかを理解する。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	1、ダンスを通じたコミュニケーションを知る。 2、言葉を使わない表現を通じて、表現方法に幅を生む。 3、身体を使う基礎を学び、ダンス技術が周囲と自らにもたらす効果を体感する。				
授業概要	前期はクラスを5つのグループに分け、テーマに沿った探求を行う【教育業界、介護福祉業界などからテーマに沿った講演会、フィールドワークなど】演劇の可能性を探り広げる。 そこから見えてきたものを踏まえ、自分たちで1つの地域社会(テーマ)を取り上げ、演劇をツールとした社会貢献を行う。				
授業計画表	授業内容			授業内容	
	1	オリエンテーション1	19	テーマ決定/役割分担	
	2	オリエンテーション2	20	演劇をツールとした社会貢献制作/活動1	
	3	オリエンテーション3	21	演劇をツールとした社会貢献制作/活動2	
	4	演劇の役割とは1	22	演劇をツールとした社会貢献制作/活動3	
	5	演劇の役割とは2	23	演劇をツールとした社会貢献制作/活動4	
	6	演劇の役割とは3	24	演劇をツールとした社会貢献制作/活動5	
	7	演劇をツールとした社会貢献1	25	演劇をツールとした社会貢献制作/活動6	
	8	演劇をツールとした社会貢献2	26	演劇をツールとした社会貢献制作/活動7	
	9	演劇をツールとした社会貢献3	27	演劇をツールとした社会貢献制作/活動8	
	10	海外事例探求1	28	演劇をツールとした社会貢献制作/活動9	
	11	海外事例探求2	29	演劇をツールとした社会貢献制作/活動10	
	12	グループ発表/レポート1	30	演劇をツールとした社会貢献制作/活動11	
	13	講演会1	31	演劇をツールとした社会貢献制作/活動12	
	14	講演会2	32	演劇をツールとした社会貢献制作/活動13	
	15	グループまとめ/レポート2	33	演劇をツールとした社会貢献制作/活動14	
	16	テーマ選出1	34	確認テスト・まとめ1	
	17	テーマ選出2	35	確認テスト・まとめ2	
	18	テーマ選出3	36	確認テスト・まとめ3	
成績割合	テスト	40%	学習FB方法	前期・後期 成績表送付	
	学習態度・出席率	30%			
	レポート	30%	成績評価	出席率80%以上 S90~100点 A80~89 B70~79点 C60~69 点 D59点以下は不合格	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<課題解決型学習>50% R<実働実践型学習>20% A<主体的参加型学習>20% G<海外体感型学習>10%				
講師プロフィール	日高俊樹:文学座演技研究所卒業 1年間雨オリカ・ロサンゼルス演劇学校に留学。帰国後「グダイメイト」を主宰し、演劇ワークショップを行いながら自らも俳優・演出家として活躍している。				

シラバス

科目名	ビジネススキル I		担当者名	牛房やよい	
学科	声優・演劇科 大学コース		授業方法	講義、実習	
認定単位 開講学年	1単位 1学年	開講期 必・選	前期・後期 必修・選択・必修選択	通年	授業時間数 36時間(週講時数 1)
授業目的	未来・社会を生きていくスキルをつける				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	1、ダンスを通じたコミュニケーションを知る。 2、言葉を使わない表現を通じて、表現方法に幅を生む。 3、身体を使う基礎を学び、ダンス技術が周囲と自らにもたらす効果を体感する。				
授業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・挨拶・マナーの徹底 ・日々の連絡事項の伝達 ・面談を行い、個人でのサポート ・オーディション情報共有 ・一般常識テスト ・トコル授業 <p style="text-align: right;">・マナープロ</p>				
授業計画表	授業内容			授業内容	
	1	オリエンテーション1	19	後期プランについて	
	2	オリエンテーション2	20	マナー・プロトコール3級合格への取り組み	
	3	オリエンテーション3	21	一般常識テスト	
	4	挨拶・マナー・ルールについて	22	マナー・プロトコール3級合格への取り組み	
	5	自己紹介	23	一般常識テスト	
	6	他己紹介	24	マナー・プロトコール3級合格への取り組み	
	7	他己紹介	25	一般常識テスト	
	8	マナー・プロトコール3級合格への取り組み	26	マナー・プロトコール3級合格への取り組み	
	9	一般常識テスト	27	一般常識テスト	
	10	マナー・プロトコール3級合格への取り組み	28	マナー・プロトコール3級合格への取り組み	
	11	一般常識テスト	29	一般常識テスト	
	12	マナー・プロトコール3級合格への取り組み	30	マナー・プロトコール3級合格への取り組み	
	13	一般常識テスト	31	一般常識テスト	
	14	マナー・プロトコール3級合格への取り組み	32	マナー・プロトコール3級合格への取り組み	
	15	一般常識テスト	33	一般常識テスト	
	16	マナー・プロトコール3級合格への取り組み	34	確認テスト・まとめ1	
	17	一般常識テスト	35	確認テスト・まとめ2	
	18	前期まとめ	36	確認テスト・まとめ3	
成績割合	テスト	40%	学習FB方法	前期・後期 成績表送付	
	学習態度・出席率	40%			
	レポート	20%	成績評価	出席率80%以上 S90~100点 A80~89 B70~79点 C60~69 点 D59点以下は不合格	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>30% R<<実働実践型学習>>30% A<<主体的参加型学習>>30% G<<海外体感型学習>>10%				
講師プロフィール	担任教員:牛房やよい プロダクションでの活動を経て、演劇企画・由木事務所にて公演活動を続けながら、1991年教員として着任、現在は公演企画時に制作として携わる等活動をおこなっている。				

シラバス

科目名	ダンスI		担当者名	遠野 祥	
学科	声優・演劇科 大学コース		授業方法	実習・実技	
認定単位 開講学年	2単位 1学年	開講期 必・選	前期・後期・ 通年 必修・選択・ 必修選択	授業時間数	72時間(週講時数 2)
授業目的	ダンス技術習得と表現の実践				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	1、ダンスを通じたコミュニケーションを知る。 2、言葉を使わない表現を通じて、表現方法に幅を生む。 3、身体を使う基礎を学び、ダンス技術が周囲と自らにもたらす効果を体感する。				
授業概要	ダンスの基礎を学び、技術と表現を実践して人に見せる事から多様な表現方法の経験を創造します。				
授業計画表	授業内容			授業内容	
	1	オリエンテーション1	19	基礎の理解、振付2曲目	
	2	オリエンテーション2	20	基礎の理解、振付2曲目	
	3	オリエンテーション3	21	基礎の理解、振付2曲目	
	4	基礎の順番記憶、習慣づくり、振付1曲目	22	基礎の理解、振付2曲目	
	5	基礎の順番記憶、習慣づくり、振付1曲目	23	基礎の理解、振付2曲目	
	6	基礎の順番記憶、習慣づくり、振付1曲目	24	基礎の理解、振付2曲目	
	7	基礎の順番記憶、習慣づくり、振付1曲目	25	基礎の理解、振付2曲目	
	8	基礎の順番記憶、習慣づくり、振付1曲目	26	基礎の理解、振付2曲目	
	9	基礎の順番記憶、習慣づくり、振付1曲目	27	基礎の理解、振付2曲目	
	10	基礎の順番記憶、習慣づくり、振付1曲目	28	基礎の理解、振付2曲目	
	11	基礎の順番記憶、習慣づくり、振付1曲目	29	基礎の理解、振付2曲目	
	12	基礎の理解、振付1曲目	30	基礎の理解、振付2曲目	
	13	基礎の理解、振付1曲目	31	基礎の理解、振付2曲目	
	14	基礎の理解、振付1曲目	32	基礎の理解、振付2曲目	
	15	基礎の理解、振付1曲目	33	基礎の理解、振付2曲目	
	16	基礎の理解、振付1曲目	34	確認テスト・まとめ1	
	17	基礎の理解、振付1曲目	35	確認テスト・まとめ2	
18	基礎の理解、振付1曲目、発表	36	確認テスト・まとめ3		
成績割合	テスト	40%	学習FB方法	前期・後期 成績表送付	
	学習態度・出席率	60%			
	レポート	0%	成績評価	出席率80%以上 S90~100点 A80~89 B70~79点 C60~69 点 D59点以下は不合格	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>40% R<<実働実践型学習>>30% A<<主体的参加型学習>>30% G<<海外体感型学習>>				
講師プロフィール	日本ジャズダンス芸術協会ダンスコンクール第1位。 イギリスエジンバラ演劇祭、フランスアビニオン演劇祭およびギリシャ、ニューヨーク公演、オーストラリア、カナダ、中国公演など延べ17ヶ国での公演にメインキャストとして出演。				

シラバス

科目名	演技基礎		担当者名	大塚 規子	
学科	声優・演劇科 大学コース		授業方法	実習・実技	
認定単位 開講学年	3単位 1学年	開講期 必・選	前期・後期・ 通年 必修・選択・ 必修選択	授業時間数	108時間(週講時数 3)
授業目的	演技の基礎を学び、聞き取りやすい声が出せるようになる。人前で堂々と演じられるようになる。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	1、ダンスを通じたコミュニケーションを知る。 2、言葉を使わない表現を通じて、表現方法に幅を生む。 3、身体を使う基礎を学び、ダンス技術が周囲と自らにもたらす効果を体感する。				
授業概要	演技の基礎となる、プロミネンス(強調)やポーズ(間)などについて座学で学んだ後、実践。				
授業計画表	授業内容			授業内容	
	1	オリエンテーション1	19	先読みしない練習	
	2	オリエンテーション2	20	4つのキャラクターを演じ分ける①	
	3	オリエンテーション3	21	登場人物3人の台本	
	4	自己紹介	22	登場人物3人の台本	
	5	オーディション形式①	23	登場人物3人の台本	
	6	プロミネンス(ニュース原稿使用)初見	24	登場人物3人の台本	
	7	プロミネンス(ニュース原稿使用)応用	25	4つのキャラクターを演じ分ける②	
	8	ポーズ(短いセリフ)初見	26	登場人物4人の台本	
	9	ポーズ(短いセリフ)応用	27	登場人物4人の台本	
	10	アクセント記号の入れ方	28	登場人物4人の台本	
	11	リズム、イントネーション、フレージング	29	登場人物4人の台本	
	12	アーティキュレーション	30	ナレーションバトル	
	13	イメージネーション	31	朗読バトル	
	14	ナレーション	32	発表	
	15	朗読	33	発表	
	16	セリフの裏付け	34	確認テスト・まとめ1	
	17	距離感	35	確認テスト・まとめ2	
18	1対1のセリフのやりとり	36	確認テスト・まとめ3		
成績割合	テスト	50%	学習FB方法	前期・後期 成績表送付	
	学習態度・出席率	50%			
	レポート	0%	成績評価	出席率80%以上 S90~100点 A80~89 B70~79点 C60~69 点 D59点以下は不合格	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<課題解決型学習>40% R<実働実践型学習>20% A<主体的参加型学習>40% G<海外体感型学習>				
講師プロフィール	劇団悪役商会、石井光三オフィスでの演劇活動を経て、日本ナレーション演技研究所の講師を22年間つとめる。演技指導の講師であり、台本の執筆、演出にも力を入れている。				

シラバス

科目名	オーディション対策セミナー I		担当者名	土方 恵美	
学科	声優・演劇科 大学コース		授業方法	講義、実習	
認定単位 開講学年	2単位 1学年	開講期 必・選	前期・後期・ 通年 必修・選択・ 必修選択	授業時間数	72時間(週講時数 2)
授業目的	業界理解、所属後のイメージを具体化しオーディションへの心得を学ぶ				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	1、ダンスを通じたコミュニケーションを知る。 2、言葉を使わない表現を通じて、表現方法に幅を生む。 3、身体を使う基礎を学び、ダンス技術が周囲と自らにもたらす効果を体感する。				
授業概要	プロフィールの書き方、自己PRのポイント、オーディション時におけるノウハウを学ぶ。 オーディションに必要なスキルを学び、企業説明会と模擬オーディションを通して、現状の自己理解、分析をすると共に、企業説明会で見えてくる社会で求められる表現者としての自己プロデュース力を身につける				
授業計画表	授業内容			授業内容	
	1	オリエンテーション1	19	ボイスサンプル	
	2	オリエンテーション2	20	ボイスサンプル	
	3	オリエンテーション3	21	ボイスサンプル	
	4	グループディスカッション	22	ボイスサンプル	
	5	グループディスカッション	23	ボイスサンプル	
	6	オーディション用紙の書き方	24	ボイスサンプル	
	7	書類審査の重要性について	25	ボイスサンプル	
	8	自己PRのポイント	26	ボイスサンプル	
	9	自己PRの発表	27	各種希望調査、共有、面談	
	10	課題への取り組み	28	各種希望調査、共有、面談	
	11	課題への取り組み	29	各種希望調査、共有、面談	
	12	課題への取り組み	30	各種希望調査、共有、面談	
	13	課題への取り組み	31	各種希望調査、共有、面談	
	14	課題への取り組み	32	各種希望調査、共有、面談	
	15	課題への取り組み	33	各種希望調査、共有、面談	
	16	課題への取り組み	34	確認テスト・まとめ1	
	17	課題への取り組み	35	確認テスト・まとめ2	
	18	前期まとめ	36	確認テスト・まとめ3	
成績割合	テスト	40%	学習FB方法	前期・後期 成績表送付	
	学習態度・出席率	30%			
	レポート	30%	成績評価	出席率80%以上 S90~100点 A80~89 B70~79点 C60~69 点 D59点以下は不合格	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>50% R<<実働実践型学習>>20% A<<主体的参加型学習>>20% G<<海外体感型学習>>10%				
講師プロフィール	土方恵美 劇団青年座を経て劇団NLT所属。舞台、海外ドラマの吹き替え等女優活動を経て、2009年教員として着任。				

シラバス

科目名	音声表現		担当者名	川本 宗紀	
学科	声優・演劇科 大学コース		授業方法	実習・実技	
認定単位 開講学年	2単位 1学年	開講期 必・選	前期・後期・ 通年 必修・選択・ 必修選択	授業時間数	72時間(週講時数 2)
授業目的	綺麗な滑舌と正しい日本語の音の動きを覚えてもらい、感情解放も行っていく。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	1、ダンスを通じたコミュニケーションを知る。 2、言葉を使わない表現を通じて、表現方法に幅を生む。 3、身体を使う基礎を学び、ダンス技術が周囲と自らにもたらす効果を体感する。				
授業概要	外郎売、滑舌教本を使って発声、暗記、滑舌、イントネーションの向上、感情解放を目指す。				
授業計画表	授業内容			授業内容	
	1	オリエンテーション1	19	滑舌教本で正しく日本語を読む	
	2	オリエンテーション2	20	滑舌教本で正しく日本語を読む	
	3	オリエンテーション3	21	滑舌教本で正しく日本語を読む	
	4	外郎売を使った発声	22	滑舌教本で正しく日本語を読む	
	5	外郎売を使った発声	23	滑舌教本で正しく日本語を読む	
	6	外郎売を使った発声	24	滑舌教本2	
	7	簡単な滑舌教本で発声	25	滑舌教本2	
	8	簡単な滑舌教本で発声	26	滑舌教本2	
	9	簡単な滑舌教本で発声	27	滑舌教本2	
	10	簡単な滑舌教本で発声	28	滑舌教本2	
	11	外郎売・滑舌教本で滑舌強化	29	全員で演じれる台本で感情解放	
	12	外郎売・滑舌教本で滑舌強化	30	全員で演じれる台本で感情解放	
	13	外郎売・滑舌教本で滑舌強化	31	全員で演じれる台本で感情解放	
	14	外郎売・滑舌教本で滑舌強化	32	全員で演じれる台本で感情解放	
	15	外郎売暗記	33	全員で演じれる台本で感情解放	
	16	外郎売暗記	34	確認テスト・まとめ1	
	17	外郎売暗記	35	確認テスト・まとめ2	
18	外郎売テスト	36	確認テスト・まとめ3		
成績割合	テスト	50%	学習FB方法	前期・後期 成績表送付	
	学習態度・出席率	50%			
	レポート	0%	成績評価	出席率80%以上 S90~100点 A80~89 B70~79点 C60~69 点 D59点以下は不合格	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<課題解決型学習>40% R<実働実践型学習>20% A<主体的参加型学習>40% G<海外体感型学習>				
講師プロフィール	東京工学院専門学校を卒業後、某ゲームの主人公、ドラマCDに出演。その後、自分で制作した作品の声をやりたいと思い、学校で学んだ事と独学で、動画やゲーム、ドラマCD、アニメ等を合計で400本以上制作。				

シラバス

科目名	ヴォーカルトレーニング I		担当者名	宗田 良一	
学科	声優・演劇科 大学コース		授業方法	実習・実技	
認定単位 開講学年	2単位 1学年	開講期 必・選	前期・後期・ 通年 必修・選択 必修選択	授業時間数	72時間(週講時数 2)
授業目的	ヴォーカルを通して、呼吸・発声・滑舌など、俳優・声優・ヴォーカリストとして必要な基礎や応用を身に付ける。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	1、ダンスを通じたコミュニケーションを知る。 2、言葉を使わない表現を通じて、表現方法に幅を生む。 3、身体を使う基礎を学び、ダンス技術が周囲と自らにもたらす効果を体感する。				
授業概要	ウォーミングアップから呼吸・発声(芝居発声と音程発声)を行い、個人でのヴォーカル発表をする。個人での発表にする事により、一人一人の良さや課題を見つけ出す。同じ生徒の前に立ち、個人で歌う事により、オーディション対策や緊張の軽減に役立て、人前で発表することの楽しさを覚えていく。				
授業計画表		授業内容			授業内容
	1	オリエンテーション1	19		課題曲(アップテンポナンバー)選考、全体歌唱
	2	オリエンテーション2	20		課題曲(アップテンポナンバー)の全体、グループ歌唱
	3	オリエンテーション3	21		課題曲(アップテンポナンバー)のソロ歌唱①
	4	自己紹介、ウォーミングアップ(解説含む)	22		課題曲(アップテンポナンバー)のソロ歌唱②
	5	ウォーミングアップ、呼吸、発声(解説含む)、課題曲(アップテンポナンバー)選考	23		課題曲(アップテンポナンバー)のソロ歌唱③
	6	課題曲(アップテンポナンバー)の全体、グループ歌唱	24		課題曲(バラードナンバー)選考、全体歌唱
	7	課題曲(アップテンポナンバー)のソロ歌唱①	25		課題曲(バラードナンバー)の全体、グループ歌唱
	8	課題曲(アップテンポナンバー)のソロ歌唱②	26		課題曲(バラードナンバー)のソロ歌唱①
	9	課題曲(アップテンポナンバー)のソロ歌唱③	27		課題曲(バラードナンバー)のソロ歌唱②
	10	課題曲(アップテンポナンバー)のソロ歌唱④	28		課題曲(バラードナンバー)のソロ歌唱③
	11	課題曲(バラードナンバー)選考、全体歌唱	29		課題曲(デュオ、デュエット)選考、全体歌唱
	12	課題曲(バラードナンバー)の全体、グループ歌唱	30		課題曲(デュオ、デュエット)全体、グループ歌唱
	13	課題曲(バラードナンバー)のソロ歌唱①	31		課題曲(デュオ、デュエット)歌唱①
	14	課題曲(バラードナンバー)のソロ歌唱②	32		課題曲(デュオ、デュエット)歌唱②
	15	課題曲(バラードナンバー)のソロ歌唱③	33		課題曲(アップテンポ・バラード)テスト
	16	課題曲(バラードナンバー)のソロ歌唱④	34		確認テスト・まとめ1
	17	課題曲(アップテンポナンバー)の前期発表	35		確認テスト・まとめ2
18	課題曲(バラードナンバー)の前期発表	36		確認テスト・まとめ3	
成績割合	テスト		50%	学習FB方法	前期・後期 成績表送付
	学習態度・出席率		50%		
	レポート			成績評価	出席率80%以上 S90~100点 A80~89 B70~79点 C60~69点 D59点以下は不合格
	合計		100%		
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>50% R<<実働実践型学習>>30% A<<主体的参加型学習>>20% G<<海外体感型学習>>				
講師プロフィール	1999年『The Singers』(博品館)のテーマ曲を発表し、NASAの名で作詞・作曲家としてデビュー、歌唱指導としても活動。主な作品に『A NEW MUSICAL クロスハート』『道化の瞳』『私のダーリン』『THE TAP GUY』他(作曲・歌唱指導)、『ピーターパン』、『年中無休!』『悪魔の毒毒モンスター』(歌唱指導)など多数。				

シラバス

科目名	舞台実習 I		担当者名	眞鍋 卓嗣	
学科	声優・演劇科 大学コース		授業方法	実習・実技	
認定単位 開講学年	3単位 1学年	開講期 必・選	前期・後期・通年 必修・選択 必修選択	授業時間数	108時間(週講時数 3)
授業目的	俳優・声優に必要な演技力を身につける				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	1、ダンスを通じたコミュニケーションを知る。 2、言葉を使わない表現を通じて、表現方法に幅を生む。 3、身体を使う基礎を学び、ダンス技術が周囲と自らにもたらす効果を体感する。				
授業概要	(1)シアター・ムーブメント(舞台上での身体の獲得・心と体を結び表現につなげる)。(2)シアター・ゲーム(コミュニケーション能力を養う。想像力を養う)。(3)戯曲を読む(戯曲の読み方、役への向き合い方、読み合わせ)。(4)立ち稽古をし、ワンシーンを上演する。				
授業計画表		授業内容		授業内容	
	1	オリエンテーション1	19	戯曲を読む	
	2	オリエンテーション2	20	戯曲を読む	
	3	オリエンテーション3	21	戯曲を読む	
	4	シアター・ゲーム	22	戯曲を読む	
	5	シアター・ゲーム	23	立ち稽古をし、ワンシーンを上演する	
	6	シアター・ゲーム	24	立ち稽古をし、ワンシーンを上演する	
	7	シアター・ゲーム	25	立ち稽古をし、ワンシーンを上演する	
	8	シアター・ゲーム	26	立ち稽古をし、ワンシーンを上演する	
	9	シアター・ゲーム	27	立ち稽古をし、ワンシーンを上演する	
	10	シアター・ゲーム	28	立ち稽古をし、ワンシーンを上演する	
	11	シアター・ムーブメント	29	立ち稽古をし、ワンシーンを上演する	
	12	シアター・ムーブメント	30	立ち稽古をし、ワンシーンを上演する	
	13	シアター・ムーブメント	31	立ち稽古をし、ワンシーンを上演する	
	14	シアター・ムーブメント	32	立ち稽古をし、ワンシーンを上演する	
	15	シアター・ムーブメント	33	立ち稽古をし、ワンシーンを上演する	
	16	戯曲を読む	34	確認テスト・まとめ1	
	17	戯曲を読む	35	確認テスト・まとめ2	
18	戯曲を読む	36	確認テスト・まとめ3		
成績割合	テスト	50%	学習FB方法	前期・後期 成績表送付	
	学習態度・出席率	50%			
	レポート	0%	成績評価	出席率80%以上 S90~100点 A80~89 B70~79点 C60~69点 D59点以下は不合格	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<課題解決型学習>40% R<実働実践型学習>20% A<主体的参加型学習>40% G<海外体感型学習>				
講師プロフィール	劇団俳優座に所属している。演出作品多数。				

シラバス

科目名	アフレコ実習 I		担当者名	川本 宗紀	
学科	声優・演劇科 大学コース		授業方法	実習・実技	
認定単位 開講学年	3単位 1学年	開講期 必・選	前期・後期・ 通年 必修・選択・ 必修選択	授業時間数	108時間(週講時数 3)
授業目的	演技の基本的な事を知ってもらい、同時に人間性を磨く。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	1、ダンスを通じたコミュニケーションを知る。 2、言葉を使わない表現を通じて、表現方法に幅を生む。 3、身体を使う基礎を学び、ダンス技術が周囲と自らにもたらす効果を体感する。				
授業概要	<p>台本を用いて、発声、滑舌、感情解放、距離感の向上を目指し、 また、キャラクターに合わせた声の作り方と収録時の注意、マイクワークを学んでもらう。 授業後半では、作品のラジオ番組を主演者同士で話し合い、台本を作ってもらう。</p>				
授業計画表		授業内容		授業内容	
	1	オリエンテーション1	19	一度台本を落とし、体を動かす	
	2	オリエンテーション2	20	一度台本を落とし、体を動かす	
	3	オリエンテーション3	21	一度台本を落とし、体を動かす	
	4	滑舌練習	22	役者同士でイメージのすり合わせ・コミュ力向上	
	5	滑舌練習	23	役者同士でイメージのすり合わせ・コミュ力向上	
	6	滑舌練習	24	役者同士でイメージのすり合わせ・コミュ力向上	
	7	ドラマCD台本読み合わせ	25	役者同士でイメージのすり合わせ・コミュ力向上	
	8	ドラマCD台本読み合わせ	26	マイクワーク	
	9	ドラマCD台本読み合わせ	27	マイクワーク	
	10	ドラマCD台本読み合わせ	28	マイクワーク	
	11	キャラクターに合わせた声の作り方	29	マイクワーク	
	12	キャラクターに合わせた声の作り方	30	収録時の注意	
	13	キャラクターに合わせた声の作り方	31	収録時の注意	
	14	キャラクターに合わせた声の作り方	32	収録時の注意	
	15	キャラクターに合わせた声の作り方	33	ラジオ実習	
	16	キャラクターを決定し、読み合わせ	34	確認テスト・まとめ1	
	17	キャラクターを決定し、読み合わせ	35	確認テスト・まとめ2	
18	キャラクターを決定し、読み合わせ	36	確認テスト・まとめ3		
成績割合	テスト	50%	学習FB方法	前期・後期 成績表送付	
	学習態度・出席率	50%			
	レポート	0%	成績評価	出席率80%以上 S90~100点 A80~89 B70~79点 C60~69 点 D59点以下は不合格	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>40% R<<実働実践型学習>>20% A<<主体的参加型学習>>40% G<<海外体感型学習>>				
講師プロフィール	東京工学院専門学校を卒業後、某ゲームの主人公、ドラマCD等に出演。その後、自分で制作した作品の声をやりたいと思い、学校で学んだ事と独学で、動画やゲーム、ドラマCD、アニメ等を合計で400本以上制作。				

シラバス

科目名	修了制作		担当者名	宮崎 誠二	
学科	声優・演劇科 大学コース		授業方法	実習・実技	
認定単位 開講学年	4単位 1学年	開講期 必・選	前期・後期・ 通年 必修・選択・ 必修選択	授業時間数	144時間(週講時数 4)
授業目的	表現者に必要な知識・技術を学ぶ。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	1、ダンスを通じたコミュニケーションを知る。 2、言葉を使わない表現を通じて、表現方法に幅を生む。 3、身体を使う基礎を学び、ダンス技術が周囲と自らにもたらす効果を体感する。				
授業概要	シアターゲームや座学によって、知識と技術を同時に身に付け、修了制作を行えるようにする。				
授業計画表				授業内容	
	1	オリエンテーション1	19	行動の動機付け	
	2	オリエンテーション2	20	行動の動機付け	
	3	オリエンテーション3	21	台本解釈	
	4	発音・発声の基本	22	キャラクター確立のためのエチュード	
	5	正しい日本語とは	23	キャラクター確立のためのエチュード	
	6	身体の意識	24	キャラクター確立のためのエチュード	
	7	“考える”と“感じる”	25	キャラクター確立のためのエチュード	
	8	癖ではなく表現する	26	キャラクター確立のためのエチュード	
	9	共通認識	27	キャラクター確立のためのエチュード	
	10	感覚の記憶の再現	28	キャラクター確立のためのエチュード	
	11	感情の記憶の再現	29	キャラクター確立のためのエチュード	
	12	自意識と集中の輪	30	キャラクター確立のためのエチュード	
	13	アクセントについて	31	キャラクター確立のためのエチュード	
	14	短文テキスト読み①	32	キャラクター確立のためのエチュード	
	15	台本解釈	33	キャラクター確立のためのエチュード	
	16	短文テキスト読み②	34	確認テスト・まとめ1	
	17	台本解釈	35	確認テスト・まとめ2	
18	サブ・テキストとは	36	確認テスト・まとめ3		
成績割合	テスト	40%	学習FB方法	前期・後期 成績表送付	
	学習態度・出席率	50%			
	レポート	10%	成績評価		
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<課題解決型学習>40% R<実働実践型学習>20% A<主体的参加型学習>40% G<海外体感型学習>				
講師プロフィール	宮崎誠二:スタジオえっせんず代表。劇団獣申 主宰。 TV、ドラマCD、ゲーム等の音響演出、音響効果を担当。最新作は「創の軌跡」(日本ファルコム)				

シラバス

科目名	基礎ゼミ I A		担当者名	日高 俊樹	
学科	声優・演劇科 大学コース		授業方法	講義、実習、実技	
認定単位 開講学年	2単位 1学年	開講期 必・選	前期・後期・ 通年 必修・選択・ 必修選択	授業時間数	36時間(週講時数 1)
授業目的	俳優、声優を目指すうえで世の中の「公演」がどのようにして作られているか仕組みを理解する。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	1、ダンスを通じたコミュニケーションを知る。 2、言葉を使わない表現を通じて、表現方法に幅を生む。 3、身体を使う基礎を学び、ダンス技術が周囲と自らにもたらす効果を体感する。				
授業概要	前期はクラスを5つのグループに分け、テーマに沿った探求、発表を行い、クラス全体で公演の仕組みを理解する。そこから見えてきたものを踏まえ、クラス全体で一つの公演を作り上げる。 後期ではそれぞれの立場に立ち、公演を制作してゆく。				
授業計画表		授業内容		授業内容	
	1	オリエンテーション1	19	公演作品決定/役割分担	
	2	オリエンテーション2	20	公演制作1	
	3	オリエンテーション3	21	公演制作2	
	4	公演の流れを知る【事例探求】1	22	公演制作3	
	5	公演の流れを知る【事例探求】2	23	公演制作4	
	6	公演の流れを知る【事例探求】3	24	公演制作5	
	7	海外の公演の流れを探索【事例探求】1	25	公演制作6	
	8	海外の公演の流れを探索【事例探求】2	26	公演制作7	
	9	海外の公演の流れを探索【事例探求】3	27	公演制作8	
	10	海外と日本の公演の在り方レポート1	28	公演制作9	
	11	海外と日本の公演の在り方レポート2	29	公演制作10	
	12	自分たちが作る理想の公演の在り方とは1	30	公演制作11	
	13	自分たちが作る理想の公演の在り方とは2	31	公演制作12	
	14	自分たちが作る理想の公演の在り方とは3	32	公演制作13	
	15	自分たちの考える理想の公演発表	33	発表	
	16	まとめ	34	確認テスト・まとめ1	
	17	公演作品共有1	35	確認テスト・まとめ2	
18	公演作品共有2	36	確認テスト・まとめ3		
成績割合	テスト	10%	学習FB方法	前期・後期 成績表送付	
	学習態度・出席率	50%			
	レポート	40%	成績評価	出席率80%以上 S90~100点 A80~89 B70~79点 C60~69 点 D59点以下は不合格	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>50% R<<実働実践型学習>>20% A<<主体的参加型学習>>20% G<<海外体感型学習>>10%				
講師プロフィール	日高俊樹:文学座演技研究所卒業 1年間雨オリカ・ロサンゼルススの演劇学校に留学。帰国後「グダイメイト」を主宰し、演劇ワークショップを行いながら自らも俳優・演出家として活躍している。				

シラバス

科目名	基礎ゼミIB		担当者名	日高 俊樹	
学科	声優・演劇科 大学コース		授業方法	講義、実習、実技	
認定単位 開講学年	2単位 1学年	開講期 必・選	前期・後期・ 通年 必修・選択 必修選択	授業時間数	36時間(週講時数 1)
授業目的	俳優、声優を目指すうえで世の中の「公演」がどのように作られているか仕組みを理解する。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	1、ダンスを通じたコミュニケーションを知る。 2、言葉を使わない表現を通じて、表現方法に幅を生む。 3、身体を使う基礎を学び、ダンス技術が周囲と自らにもたらす効果を体感する。				
授業概要	前期はクラスを5つのグループに分け、テーマに沿った探求、発表を行い、クラス全体で公演の仕組みを理解する。そこから見えてきたものを踏まえ、クラス全体で一つの公演を作り上げる。 後期ではそれぞれの立場に立ち、公演を制作してゆく。				
授業計画表		授業内容		授業内容	
	1	オリエンテーション1	19	公演作品決定/役割分担	
	2	オリエンテーション2	20	公演制作1	
	3	オリエンテーション3	21	公演制作2	
	4	公演の流れを知る【事例探求】1	22	公演制作3	
	5	公演の流れを知る【事例探求】2	23	公演制作4	
	6	公演の流れを知る【事例探求】3	24	公演制作5	
	7	海外の公演の流れを探求【事例探求】1	25	公演制作6	
	8	海外の公演の流れを探求【事例探求】2	26	公演制作7	
	9	海外の公演の流れを探求【事例探求】3	27	公演制作8	
	10	海外と日本の公演の在り方レポート1	28	公演制作9	
	11	海外と日本の公演の在り方レポート2	29	公演制作10	
	12	自分たちが作る理想の公演の在り方とは1	30	公演制作11	
	13	自分たちが作る理想の公演の在り方とは2	31	公演制作12	
	14	自分たちが作る理想の公演の在り方とは3	32	公演制作13	
	15	自分たちの考える理想の公演発表	33	発表	
	16	まとめ	34	確認テスト・まとめ1	
	17	公演作品共有1	35	確認テスト・まとめ2	
18	公演作品共有2	36	確認テスト・まとめ3		
成績割合	テスト	10%	学習FB方法	前期・後期 成績表送付	
	学習態度・出席率	50%			
	レポート	40%	成績評価		
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>50% R<<実働実践型学習>>20% A<<主体的参加型学習>>20% G<<海外体感型学習>>10%				
講師プロフィール	日高俊樹:文学座演技研究所卒業 1年間雨オリカ・ロサンゼルス演劇学校に留学。帰国後「グダイメイト」を主宰し、演劇ワークショップを行いながら自らも俳優・演出家として活躍している。				

シラバス

科目名	ビジネススキルⅡ		担当者名	牛房やよい	
学科	声優・演劇科 大学コース		授業方法	講義、実習	
認定単位 開講学年	2単位 2学年	開講期 必・選	前期・後期・ 通年 必修 ・選・必修選択	授業時間数	36時間(週講時数 1)
授業目的	未来・社会を生きていくスキルをつける				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	1、ダンスを通じたコミュニケーションを知る。 2、言葉を使わない表現を通じて、表現方法に幅を生む。 3、身体を使う基礎を学び、ダンス技術が周囲と自らにもたらす効果を体感する。				
授業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・挨拶・マナーの徹底(メイク・服装・言葉遣い等々) ・日々の連絡事項の伝達 ・面談を行い、個人へのサポート ・オーディション情報の伝達 ・進路相談 ・問題(テーマ)に関するディスカッション 				
授業計画表		授業内容		授業内容	
	1	オリエンテーション1	19	後期授業についてのオリエンテーション	
	2	オリエンテーション2	20	面談・マナー講座	
	3	オリエンテーション3	21	一般常識テスト	
	4	授業についてのオリエンテーション	22	テーマディスカッション	
	5	面談・マナー講座	23	面談・マナー講座	
	6	一般常識テスト	24	一般常識テスト	
	7	テーマディスカッション	25	テーマディスカッション	
	8	面談・マナー講座	26	面談・マナー講座	
	9	一般常識テスト	27	一般常識テスト	
	10	テーマディスカッション	28	テーマディスカッション	
	11	面談・マナー講座	29	面談・マナー講座	
	12	一般常識テスト	30	一般常識テスト	
	13	テーマディスカッション	31	テーマディスカッション	
	14	面談・マナー講座	32	面談・マナー講座	
	15	一般常識テスト	33	面談・マナー講座	
	16	テーマディスカッション	34	確認テスト・まとめ1	
	17	面談・マナー講座	35	確認テスト・まとめ2	
18	前期まとめ	36	確認テスト・まとめ3		
成績割合	テスト	40%	学習FB方法	前期・後期 成績表送付	
	学習態度・出席率	40%			
	レポート	20%	成績評価	出席率80%以上 S90~100点 A80~89 B70~79点 C60~69 点 D59点以下は不合格	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>30% R<<実働実践型学習>>30% A<<主体的参加型学習>>30% G<<海外体感型学習>>10%				
講師プロフィール	担任教員:牛房やよい プロダクションでの活動を経て、演劇企画・由木事務所にて公演活動を続けながら、1991年教員として着任、現在は公演企画時に制作として携わる等活動をおこなっている。				

シラバス

科目名	業界セミナー		担当者名	土方 恵美	
学科	声優・演劇科 大学コース		授業方法	講義、実習、実技	
認定単位 開講学年	2単位 2学年	開講期 必・選	前期・後期・ 通年 必修・選択・ 必修選択	授業時間数	72時間(週講時数 2)
授業目的	表現者において卒業後即戦力として活躍するのに必要な技術と知識の習得				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	1、ダンスを通じたコミュニケーションを知る。 2、言葉を使わない表現を通じて、表現方法に幅を生む。 3、身体を使う基礎を学び、ダンス技術が周囲と自らにもたらす効果を体感する。				
授業概要	前期は業界に精通している社会のプロフェッショナルを呼んでの講義を行い、業界理解を深める。				後期は実際に外部のスタジオへ出てレッスンを重ねてゆく。
授業計画表	授業内容				
	1	オリエンテーション1	19	山崎:外部スタジオレッスン1	
	2	オリエンテーション2	20	山崎:外部スタジオレッスン2	
	3	オリエンテーション3	21	山崎:外部スタジオレッスン3	
	4	小金丸:声優と舞台1	22	山崎:外部スタジオレッスン4	
	5	小金丸:声優と舞台2	23	山崎:外部スタジオレッスン5	
	6	小金丸:声優と舞台3	24	山崎:外部スタジオレッスン6	
	7	小金丸:声優と舞台4	25	山崎:外部スタジオレッスン7	
	8	山崎:表現者として必要なチカラ1	26	山崎:外部スタジオレッスン8	
	9	山崎:表現者として必要なチカラ2	27	山崎:外部スタジオレッスン9	
	10	山崎:表現者として必要なチカラ3	28	山崎:外部スタジオレッスン10	
	11	山崎:表現者として必要なチカラ4	29	山崎:外部スタジオレッスン11	
	12	メイクアップアーティスト:メイク講座1	30	山崎:外部スタジオレッスン12	
	13	メイクアップアーティスト:メイク講座2	31	山崎:外部スタジオレッスン13	
	14	土方:声優、俳優を取り巻く環境1	32	山崎:外部スタジオレッスン14	
	15	土方:声優、俳優を取り巻く環境2	33	山崎:外部スタジオレッスン15	
	16	土方:声優、俳優を取り巻く環境3	34	確認テスト・まとめ1	
	17	土方:声優、俳優を取り巻く環境4	35	確認テスト・まとめ2	
	18	まとめ	36	確認テスト・まとめ3	
成績割合	テスト	40%	学習FB方法	前期・後期 成績表送付	
	学習態度・出席率	30%			
	レポート	30%	成績評価	出席率80%以上 S90~100点 A80~89 B70~79点 C60~69 点 D59点以下は不合格	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>50% R<<実働実践型学習>>20% A<<主体的参加型学習>>20% G<<海外体感型学習>>10%				
講師プロフィール	土方…劇団青年座を経て劇団NLT所属。舞台、海外ドラマの吹き替え等女優活動を経て、2009年教員として着任。小金丸氏…日本の劇作家、脚本家、漫画原作者。劇団「演劇制作体V-NET」を主宰している。山崎氏…株式会社ボイスアクターズスタイル社長、プロモーター、プロデューサーとして養成所を運営している。				

シラバス

科目名	オーディション対策セミナーⅡ		担当者名	大塚 規子	
学科	声優・演劇科 大学コース		授業方法	実習、実技	
認定単位 開講学年	2単位 2学年	開講期 必・選	前期・後期・通年 必修・選択・必修選択	授業時間数	72時間(週講時数 2)
授業目的	演劇業界で活躍出来る表現者の育成				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	1、ダンスを通じたコミュニケーションを知る。 2、言葉を使わない表現を通じて、表現方法に幅を生む。 3、身体を使う基礎を学び、ダンス技術が周囲と自らにもたらす効果を体感する。				
授業概要	オーディション形式の授業により、オーディションの空気に慣れる。 芝居を体験することにより、本番の緊張感に対応出来るようになる。 オーディションにより役を勝ち取るという意識を持つ。				キャスティングオー
授業計画表	授業内容			授業内容	
	1	オリエンテーション1	19	立ち稽古	
	2	オリエンテーション2	20	立ち稽古	
	3	オリエンテーション3	21	立ち稽古	
	4	オーディション練習①	22	立ち稽古	
	5	台本(本読み)	23	仕上げ(本番)	
	6	台本(本読み)	24	オーディション練習③	
	7	キャスティングオーディション	25	台本(本読み)	
	8	台本(本読み)	26	キャスティングオーディション	
	9	立ち稽古	27	台本(本読み)	
	10	立ち稽古	28	立ち稽古	
	11	立ち稽古	29	立ち稽古	
	12	立ち稽古	30	立ち稽古	
	13	仕上げ(本番)	31	立ち稽古	
	14	オーディション練習②	32	立ち稽古	
	15	台本(本読み)	33	仕上げ(本番)	
	16	台本(本読み)	34	確認テスト・まとめ1	
	17	キャスティングオーディション	35	確認テスト・まとめ2	
	18	台本(本読み)	36	確認テスト・まとめ3	
成績割合	テスト	50%	学習FB方法	前期・後期 成績表送付	
	学習態度・出席率	50%			
	レポート	0%	成績評価	出席率80%以上 S90~100点 A80~89 B70~79点 C60~69 点 D59点以下は不合格	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<課題解決型学習>40% R<実働実践型学習>20% A<主体的参加型学習>40% G<海外体感型学習>				
講師プロフィール	劇団悪役商会、石井光三オフィスでの演劇活動を経て、日本ナレーション演技研究所の講師を22年間つとめる。演技指導の講師であり、台本の執筆、演出にも力を入れている。				

シラバス

科目名	ダンスⅡ		担当者名	遠野 祥	
学科	声優・演劇科 大学コース		授業方法	実習・実技	
認定単位 開講学年	2単位 2学年	開講期 必・選	前期・後期・ 通年 必修・選択・ 必修選択	授業時間数	144時間(週講時数 4)
授業目的	ダンス技術習得と表現の実践				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	1、ダンスを通じたコミュニケーションを知る。 2、言葉を使わない表現を通じて、表現方法に幅を生む。 3、身体を使う基礎を学び、ダンス技術が周囲と自らにもたらす効果を体感する。				
授業概要	ダンスの基礎を学び、技術と表現を実践して人に見せる事から多様な表現方法の経験を創造します。				
授業計画表	授業内容			授業内容	
	1	オリエンテーション1	19	基礎の理解、振付2曲目	
	2	オリエンテーション2	20	基礎の理解、振付2曲目	
	3	オリエンテーション3	21	基礎の理解、振付2曲目	
	4	基礎の順番記憶、習慣づくり、振付1曲目	22	基礎の理解、振付2曲目	
	5	基礎の順番記憶、習慣づくり、振付1曲目	23	基礎の理解、振付2曲目	
	6	基礎の順番記憶、習慣づくり、振付1曲目	24	基礎の理解、振付2曲目	
	7	基礎の順番記憶、習慣づくり、振付1曲目	25	基礎の理解、振付2曲目	
	8	基礎の順番記憶、習慣づくり、振付1曲目	26	基礎の理解、振付2曲目	
	9	基礎の順番記憶、習慣づくり、振付1曲目	27	基礎の理解、振付2曲目	
	10	基礎の順番記憶、習慣づくり、振付1曲目	28	基礎の理解、振付2曲目	
	11	基礎の順番記憶、習慣づくり、振付1曲目	29	基礎の理解、振付2曲目	
	12	基礎の理解、振付1曲目	30	基礎の理解、振付2曲目	
	13	基礎の理解、振付1曲目	31	基礎の理解、振付2曲目	
	14	基礎の理解、振付1曲目	32	基礎の理解、振付2曲目	
	15	基礎の理解、振付1曲目	33	基礎の理解、振付2曲目	
	16	基礎の理解、振付1曲目	34	確認テスト・まとめ1	
	17	基礎の理解、振付1曲目	35	確認テスト・まとめ2	
18	基礎の理解、振付1曲目、発表	36	確認テスト・まとめ3		
成績割合	テスト	40%	学習FB方法	前期・後期 成績表送付	
	学習態度・出席率	60%			
	レポート	0%	成績評価	出席率80%以上 S90~100点 A80~89 B70~79点 C60~69 点 D59点以下は不合格	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>40% R<<実働実践型学習>>30% A<<主体的参加型学習>>30% G<<海外体感型学習>>				
講師プロフィール	日本ジャズダンス芸術協会ダンスコンクール第1位。 イギリスエジンバラ演劇祭、フランスアビニオン演劇祭およびギリシャ、ニューヨーク公演、オーストラリア、カナダ、中国公演など延べ17ヶ国での公演にメインキャストとして出演。				

シラバス

科目名	舞台実習Ⅱ		担当者名	眞鍋 卓嗣	
学科	声優・演劇科 大学コース		授業方法	実習・実技	
認定単位 開講学年	3単位 2学年	開講期 必・選	前期・後期・ 通年 必修・選択・ 必修選択	授業時間数	108時間(週講時数 3)
授業目的	俳優・声優に必要な演技力を身につける				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	1、ダンスを通じたコミュニケーションを知る。 2、言葉を使わない表現を通じて、表現方法に幅を生む。 3、身体を使う基礎を学び、ダンス技術が周囲と自らにもたらす効果を体感する。				
授業概要	(1)シアター・ムーブメント(舞台上での身体の獲得・心と体を結び表現につなげる)。(2)シアター・ゲーム(コミュニケーション能力を養う。想像力を養う)。(3)戯曲を読む(戯曲の読み方、役への向き合い方、読み合わせ)。(4)立ち稽古をし、ワンシーンを上演する。				
授業計画表	授業内容			授業内容	
	1	オリエンテーション1	19	戯曲を読む	
	2	オリエンテーション2	20	戯曲を読む	
	3	オリエンテーション3	21	戯曲を読む	
	4	シアター・ゲーム	22	戯曲を読む	
	5	シアター・ゲーム	23	立ち稽古をし、ワンシーンを上演する	
	6	シアター・ゲーム	24	立ち稽古をし、ワンシーンを上演する	
	7	シアター・ゲーム	25	立ち稽古をし、ワンシーンを上演する	
	8	シアター・ゲーム	26	立ち稽古をし、ワンシーンを上演する	
	9	シアター・ゲーム	27	立ち稽古をし、ワンシーンを上演する	
	10	シアター・ゲーム	28	立ち稽古をし、ワンシーンを上演する	
	11	シアター・ムーブメント	29	立ち稽古をし、ワンシーンを上演する	
	12	シアター・ムーブメント	30	立ち稽古をし、ワンシーンを上演する	
	13	シアター・ムーブメント	31	立ち稽古をし、ワンシーンを上演する	
	14	シアター・ムーブメント	32	立ち稽古をし、ワンシーンを上演する	
	15	シアター・ムーブメント	33	立ち稽古をし、ワンシーンを上演する	
	16	戯曲を読む	34	確認テスト・まとめ1	
	17	戯曲を読む	35	確認テスト・まとめ2	
18	戯曲を読む	36	確認テスト・まとめ3		
成績割合	テスト	50%	学習FB方法	前期・後期 成績表送付	
	学習態度・出席率	50%			
	レポート	0%	成績評価	出席率80%以上 S90~100点 A80~89 B70~79点 C60~69 点 D59点以下は不合格	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<課題解決型学習>40% R<実働実践型学習>20% A<主体的参加型学習>40% G<海外体感型学習>				
講師プロフィール	劇団俳優座に所属している。演出作品多数。				

シラバス

科目名	アフレコ実習Ⅱ		担当者名	川本 宗紀	
学科	声優・演劇科 大学コース		授業方法	実習・実技	
認定単位 開講学年	3単位 2学年	開講期 必・選	前期・後期・ 通年 必修・選択・ 必修選択	授業時間数	108時間(週講時数 3)
授業目的	演技力の向上及びコミュニケーション力の向上				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	1、ダンスを通じたコミュニケーションを知る。 2、言葉を使わない表現を通じて、表現方法に幅を生む。 3、身体を使う基礎を学び、ダンス技術が周囲と自らにもたらす効果を体感する。				
授業概要	ラジオ台本を作成してもらい、その実演。 台本を用いて、滑舌、感情解放、会話の距離感、台本の読解力の向上、 収録時の注意をしていく。 また、演技や台本の内容について話し合わせ、コミュニケーション力も同時に向上を目指す。				
授業計画表		授業内容		授業内容	
	1	オリエンテーション1	19	マイクワーク	
	2	オリエンテーション2	20	マイクワーク	
	3	オリエンテーション3	21	マイクワーク	
	4	ラジオ実習とコミュ力向上	22	マイクワーク	
	5	ラジオ実習とコミュ力向上	23	ゲーム台本・収録方法の違いを説明	
	6	ラジオ実習とコミュ力向上	24	ゲーム台本読み合わせ	
	7	ラジオ実習とコミュ力向上	25	Cv決定し、読み合わせ	
	8	ドラマCD台本読み合わせ	26	Cv決定し、読み合わせ	
	9	ドラマCD台本読み合わせ	27	Cv決定し、読み合わせ	
	10	ドラマCD台本読み合わせ	28	マイクワーク	
	11	ドラマCD台本読み合わせ	29	マイクワーク	
	12	キャラクターを決定し、読み合わせ	30	マイクワーク	
	13	キャラクターを決定し、読み合わせ	31	ラジオ実習(コミュ力向上)	
	14	キャラクターを決定し、読み合わせ	32	ラジオ実習(コミュ力向上)	
	15	台本の世界観を話し合う(コミュ力向上)	33	ラジオ実習(コミュ力向上)	
	16	台本の世界観を話し合う(コミュ力向上)	34	確認テスト・まとめ1	
	17	台本の世界観を話し合う(コミュ力向上)	35	確認テスト・まとめ2	
18	読み合わせ	36	確認テスト・まとめ3		
成績割合	テスト	50%	学習FB方法	前期・後期 成績表送付	
	学習態度・出席率	50%			
	レポート	0%	成績評価	出席率80%以上 S90~100点 A80~89 B70~79点 C60~69 点 D59点以下は不合格	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>40% R<<実働実践型学習>>20% A<<主体的参加型学習>>40% G<<海外体感型学習>>				
講師プロフィール	東京工学院専門学校を卒業後、某ゲームの主人公、ドラマCDに出演。その後、自分で制作した作品の声をやりたいと思い、学校で学んだ事と独学で、動画やゲーム、ドラマCD、アニメ等を合計で400本以上制作。				

シラバス

科目名	ヴォーカルトレーニングⅡ		担当者名	熊坂 正実	
学科	声優・演劇科 大学コース		授業方法	実習・実技	
認定単位 開講学年	2単位 2学年	開講期 必・選	前期・後期 必修・選択・ 通年 必修選択	授業時間数	72時間(週講時数 2)
授業目的	表現者としての身体の使い方・発声・発語・呼吸法を、歌唱を通して体得する。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	1、ダンスを通じたコミュニケーションを知る。 2、言葉を使わない表現を通じて、表現方法に幅を生む。 3、身体を使う基礎を学び、ダンス技術が周囲と自らにもたらす効果を体感する。				
授業概要	発声法・呼吸法・発語法など、歌唱の基礎となる技術を個人レッスンで指導。 また、フレージングやアーティキュレーションなどの楽曲理解やアナリゼを通し、 自らが奏でる声(メロディー)の「表現力」・音源や伴奏(ハーモニー)から受け取る「感性」を鍛える。				
授業計画表		授業内容		授業内容	
	1	オリエンテーション1	19	楽曲への応用(課題曲)	
	2	オリエンテーション2	20	感情表現と歌唱法・表現法	
	3	オリエンテーション3	21	感情表現と歌唱法・表現法	
	4	全体基礎練習(発声法・呼吸法・発語法)	22	楽曲への応用(課題曲)	
	5	全体基礎練習(発声法・呼吸法・発語法)	23	楽曲への応用(課題曲)	
	6	全体基礎練習(発声法・呼吸法・発語法)	24	アナリゼと楽曲研究	
	7	音程・リズム・テンポの基礎練習	25	アナリゼと楽曲研究	
	8	音程・リズム・テンポの基礎練習	26	楽曲への応用(自由曲)	
	9	楽曲への応用(課題曲)	27	楽曲への応用(自由曲)	
	10	楽曲への応用(課題曲)	28	作品としての楽曲制作(自由曲)	
	11	フレージング・アーティキュレーションの基礎練習	29	作品としての楽曲制作(自由曲)	
	12	フレージング・アーティキュレーションの基礎練習	30	作品としての楽曲制作(自由曲)	
	13	楽曲への応用(課題曲)	31	作品としての楽曲制作(自由曲)	
	14	楽曲への応用(課題曲)	32	作品としての楽曲制作(自由曲)	
	15	前期試験	33	作品としての楽曲制作(自由曲)	
	16	デュエットのアプローチ法・演奏法	34	確認テスト・まとめ1	
	17	デュエットのアプローチ法・演奏法	35	確認テスト・まとめ2	
18	楽曲への応用(課題曲)	36	確認テスト・まとめ3		
成績割合	テスト	50%	学習FB方法	前期・後期 成績表送付	
	学習態度	30%			
	レポート	20%	成績評価	出席率:80%以上 S90~100点 A80~89点 B70~79点 C 60~69点 D59点以下は不合格	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<課題解決型学習>30% R<実働実践型学習>30% A<主体的参加型学習>30% G<海外体感型学習>10%				
講師プロフィール	武蔵野音楽大学音楽学部声楽科卒業、日本オペラ振興会オペラ歌手育成部修了。国内各所でのオペラ公演やミュージカル、ディナーショーやジャズライブ等のステージに出演。				

シラバス

科目名	卒業制作		担当者名	宮崎 誠二	
学科	声優・演劇科 大学コース		授業方法	実習・実技	
認定単位 開講学年	6単位 2学年	開講期 必・選	前期・後期・ 通年 必修・選択・ 必修選択	授業時間数	180時間(週講時数5)
授業目的	表現者に必要な知識・技術を学ぶ。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	1、ダンスを通じたコミュニケーションを知る。 2、言葉を使わない表現を通じて、表現方法に幅を生む。 3、身体を使う基礎を学び、ダンス技術が周囲と自らにもたらす効果を体感する。				
授業概要	エチュード、シアターゲーム、座学によって、基本を丁寧に復習し、 高度な卒業公演を行えるようにする。			考える力を身に付け、	
授業計画表			授業内容		
	1	オリエンテーション1	19	行動の動機付け	
	2	オリエンテーション2	20	行動の動機付け	
	3	オリエンテーション3	21	台本解釈	
	4	発音・発声の復習	22	キャラクター確立のためのエチュード	
	5	正しい日本語とは	23	キャラクター確立のためのエチュード	
	6	身体の意識	24	キャラクター確立のためのエチュード	
	7	“考える”と“感じる”	25	キャラクター確立のためのエチュード	
	8	癖ではなく表現する	26	キャラクター確立のためのエチュード	
	9	共通認識	27	キャラクター確立のためのエチュード	
	10	感覚の記憶の再現	28	キャラクター確立のためのエチュード	
	11	感情の記憶の再現	29	キャラクター確立のためのエチュード	
	12	自意識と集中の輪	30	キャラクター確立のためのエチュード	
	13	アクセントについて	31	キャラクター確立のためのエチュード	
	14	短文テキスト読み①	32	キャラクター確立のためのエチュード	
	15	台本解釈	33	キャラクター確立のためのエチュード	
	16	短文テキスト読み②	34	確認テスト・まとめ1	
	17	台本解釈	35	確認テスト・まとめ2	
	18	サブ・テキストとは	36	確認テスト・まとめ3	
成績割合	テスト	40%	学習FB方法	前期・後期 成績表送付	
	学習態度・出席率	50%			
	レポート	10%	成績評価		
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<課題解決型学習>40% R<実働実践型学習>20% A<主体的参加型学習>40% G<海外体感型学習>				
講師プロフィール	宮崎誠二:スタジオえっせんず代表。劇団獣申 主宰。 TV、ドラマCD、ゲーム等の音響演出、音響効果を担当。最新作は「創の軌跡」(日本ファルコム)				

シラバス

科目名	応用ゼミⅡA		担当者名	日高 俊樹	
学科	声優・演劇科 大学コース		授業方法	講義、実習	
認定単位 開講学年	2単位 2学年	開講期 必・選	前期・後期・通年 必修・選択・必修選択	授業時間数	36時間(週講時数 1)
授業目的	演劇をエンターテインメントの枠だけでなく、社会の中でどのような役割を担っているかを理解する。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	1、ダンスを通じたコミュニケーションを知る。 2、言葉を使わない表現を通じて、表現方法に幅を生む。 3、身体を使う基礎を学び、ダンス技術が周囲と自らにもたらす効果を体感する。				
授業概要	前期はクラスを5つのグループに分け、テーマに沿った探求を行う【教育業界、介護福祉業界などからテーマに沿った講演会、フィールドワークなど】演劇の可能性を探り広げる。 そこから見えてきたものを踏まえ、自分たちで1つの地域社会(テーマ)を取り上げ、演劇をツールとした社会貢献を行う。				
授業計画表	授業内容			授業内容	
	1	オリエンテーション1	19	テーマ決定/役割分担	
	2	オリエンテーション2	20	演劇をツールとした社会貢献制作/活動1	
	3	オリエンテーション3	21	演劇をツールとした社会貢献制作/活動2	
	4	演劇の役割とは1	22	演劇をツールとした社会貢献制作/活動3	
	5	演劇の役割とは2	23	演劇をツールとした社会貢献制作/活動4	
	6	演劇の役割とは3	24	演劇をツールとした社会貢献制作/活動5	
	7	演劇をツールとした社会貢献1	25	演劇をツールとした社会貢献制作/活動6	
	8	演劇をツールとした社会貢献2	26	演劇をツールとした社会貢献制作/活動7	
	9	演劇をツールとした社会貢献3	27	演劇をツールとした社会貢献制作/活動8	
	10	海外事例探求1	28	演劇をツールとした社会貢献制作/活動9	
	11	海外事例探求2	29	演劇をツールとした社会貢献制作/活動10	
	12	グループ発表/レポート1	30	演劇をツールとした社会貢献制作/活動11	
	13	講演会1	31	演劇をツールとした社会貢献制作/活動12	
	14	講演会2	32	演劇をツールとした社会貢献制作/活動13	
	15	グループまとめ/レポート2	33	演劇をツールとした社会貢献制作/活動14	
	16	テーマ選出1	34	確認テスト・まとめ1	
	17	テーマ選出2	35	確認テスト・まとめ2	
18	テーマ選出3	36	確認テスト・まとめ3		
成績割合	テスト	40%	学習FB方法	前期・後期 成績表送付	
	学習態度・出席率	30%			
	レポート	30%	成績評価	出席率80%以上 S90~100点 A80~89 B70~79点 C60~69 点 D59点以下は不合格	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<課題解決型学習>50% R<実働実践型学習>20% A<主体的参加型学習>20% G<海外体感型学習>10%				
講師プロフィール	日高俊樹:文学座演技研究所卒業 1年間雨オリカ・ロサンゼルス演劇学校に留学。帰国後「グダイメイト」を主宰し、演劇ワークショップ行いながら自らも俳優・演出家として活躍している。				

シラバス

科目名	応用ゼミⅡB		担当者名	日高 俊樹	
学科	声優・演劇科 大学コース		授業方法	講義、実習	
認定単位 開講学年	2単位 2学年	開講期 必・選	前期・後期・ 通年 必修・選択・ 必修選択	授業時間数	36時間(週講時数 1)
授業目的	演劇をエンターテインメントの枠だけでなく、社会の中でどのような役割を担っているかを理解する。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	1、ダンスを通じたコミュニケーションを知る。 2、言葉を使わない表現を通じて、表現方法に幅を生む。 3、身体を使う基礎を学び、ダンス技術が周囲と自らにもたらす効果を体感する。				
授業概要	前期はクラスを5つのグループに分け、テーマに沿った探求を行う【教育業界、介護福祉業界などからテーマに沿った講演会、フィールドワークなど】演劇の可能性を探り広げる。 そこから見えてきたものを踏まえ、自分たちで1つの地域社会(テーマ)を取り上げ、演劇をツールとした社会貢献を行う。				
授業計画表	授業内容			授業内容	
	1	オリエンテーション1	19	テーマ決定/役割分担	
	2	オリエンテーション2	20	演劇をツールとした社会貢献制作/活動1	
	3	オリエンテーション3	21	演劇をツールとした社会貢献制作/活動2	
	4	演劇の役割とは1	22	演劇をツールとした社会貢献制作/活動3	
	5	演劇の役割とは2	23	演劇をツールとした社会貢献制作/活動4	
	6	演劇の役割とは3	24	演劇をツールとした社会貢献制作/活動5	
	7	演劇をツールとした社会貢献1	25	演劇をツールとした社会貢献制作/活動6	
	8	演劇をツールとした社会貢献2	26	演劇をツールとした社会貢献制作/活動7	
	9	演劇をツールとした社会貢献3	27	演劇をツールとした社会貢献制作/活動8	
	10	海外事例探求1	28	演劇をツールとした社会貢献制作/活動9	
	11	海外事例探求2	29	演劇をツールとした社会貢献制作/活動10	
	12	グループ発表/レポート1	30	演劇をツールとした社会貢献制作/活動11	
	13	講演会1	31	演劇をツールとした社会貢献制作/活動12	
	14	講演会2	32	演劇をツールとした社会貢献制作/活動13	
	15	グループまとめ/レポート2	33	演劇をツールとした社会貢献制作/活動14	
	16	テーマ選出1	34	確認テスト・まとめ1	
	17	テーマ選出2	35	確認テスト・まとめ2	
18	テーマ選出3	36	確認テスト・まとめ3		
成績割合	テスト	40%	学習FB方法	前期・後期 成績表送付	
	学習態度・出席率	30%			
	レポート	30%	成績評価	出席率80%以上 S90~100点 A80~89 B70~79点 C60~69 点 D59点以下は不合格	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<課題解決型学習>50% R<実働実践型学習>20% A<主体的参加型学習>20% G<海外体感型学習>10%				
講師プロフィール	日高俊樹:文学座演技研究所卒業 1年間雨オリカ・ロサンゼルス演劇学校に留学。帰国後「グダイメイト」を主宰し、演劇ワークショップを行いながら自らも俳優・演出家として活躍している。				